

地域医療支援病院  
地域周産期母子医療センター  
地域がん診療連携拠点病院  
専門医療施設(がん/成育/骨・運動器)  
エイズ治療中核拠点病院  
第二次救急医療指定病院  
臨床研修指定病院

# FMC NEWS

FUKUYAMA MEDICAL CENTER

福山医療センターだより

2026 May  
Vol.19 No.5



Instagram

Instagram始めました!  
病院紹介、採用情報を掲載しています。  
是非ご覧ください。



nho\_fukuyama

病院方針

# 飛躍する福山医療センター

## ～令和8年度 当院の取り組みと目標～

開催日：令和8年4月13日(月) 17:15 - 18:50

- |                              |               |
|------------------------------|---------------|
| 1. 2026年診療報酬改定に向けて           | 藤川経営企画室長      |
| 2. 手術室増設に向けて                 | 岡本企画課長        |
| 3. がん診療連携拠点病院としての役割          | 三好院長補佐・がん診療部長 |
| 4. 医療安全の質向上に向けて              | 高田医療安全管理係長    |
| 5. 新生児医療の現状と課題               | 岩瀬新生児科医長      |
| 6. 救急医療の実情と当院の役割             | 徳永救急医療部長      |
| 7. ロボット支援手術の新たな展開            | 寺石統括診療部長      |
| 8. 化学療法とがん専門薬剤師の役割           | 高田がん専門薬剤師     |
| 9. 地域医療連携室の役割                | 木梨医療福祉相談係長    |
| 10. PERIOの体制と運用              | 末富PERIO看護師    |
| 11. C型ウイルス肝炎のスクリーニング         | 森川臨床検査技師長     |
| 12. 糖尿病患者管理の実際               | 戸田認定看護師       |
| 13. 当院における臨床工学技士の役割と今年度の取り組み | 小川臨床工学技士      |
| 14. ペイシエントハラスメントへの対応         | 中川専門職         |

皆で目指す  
STARS  
S: safety  
T: tolerance  
A: academic  
R: responsibility  
S: sustainability

### ご挨拶

院長  
稲垣 優



新年度を迎え、今年度もよろしくお願ひ申し上げます。

本年度も4月13日に病院方針説明会を開催しましたのでその内容につき、ご報告させていただきます。

当院の救急医療における位置付けとしては成人救急医療では2.5次救急、いわゆる空床確保病院としての機能が、搬送困難事例の発生を防ぐべく尽力して参ります。また、産科の三次救急指定病院としての役割があり、地域唯一の地域周産期母子医療センターとして周産期医療の要となっております。同時に新生児医療の拠点としてNICU,GCUを運用し、小児科、小児外科が新生児救急・高度急性期医療を担っています。

国外に目を向けますと中東での紛争の先行きが全く見えず、石油価格の高騰により徐々に日常生活にも影響がでており、ホルムズ海峡の封鎖が続けば病院にも光熱費、医療材料を含めその余波が今後及んでくることは確実です。国内では高市政権となり、医療特に急性期病院の窮状に目を向けられ、当院もそれに漏れず経営状況が厳しい中、今年度の診療報酬改定では急性期病院に対する診療報酬が手厚くなり、当院もその恩恵

を受けることができると考えておりますが、2024年度診療報酬改定以降の赤字を改善するには不十分で、さらなる対応が必要となります。

当院は今年度のプロジェクトとして、手術室の増設が進行中で先日無事入札も終了し、施行業者が決定し、順調に行けば12月に完成、来年1月から運用開始の予定です。それにより、手術待機時間を短縮し、手術件数、新入院患者の増加を図り、入院患者数の確保によりさらなる増収を見込んでおります。また、ベッドコントロールを緻密に行うことで入院患者数の均てん化を図ります。

今年度の運営方針は前年度と同様2つの方針を掲げています。一つが「皆で目指すSTARS」という方針で、Safety:安全に留意し、Tolerance:寛容な心で、Academic:アカデミックマインドを持ち、Responsibility:自らの仕事に責任を持って、Sustainability:持続可能な医療の提供を目指します。それにより、スタッフ一同がプロフェッショナルな個人として輝くstars(星々)となることを目標とします。もう一つの方針は、「Collaborate on our projects, unite mind, and create tough team」であり、スタッフが課題に協力して取り組み、心をつにし、強靱な組織を創り上げることにあります。それらの方針のもと、チーム医療を充実させ、さらに邁進して参ります。

病院目標として(1)質の高い医療の維持と提供(2)通常医療の持続可能性担保一各種認定の継続一(3)周産期医療を含めた急性期医療体制の強化(4)働き方改革にむけた体制の推進を掲げました。2023年11月に手術支援ロボットDa

Vinci Xiを導入し、泌尿器科、消化器外科を中心に確実に症例数を伸ばし、昨年8月には300例を達成しました。地域がん診療連携拠点病院として、最新の医療が提供できる体制を整え、より質の高い医療を提供して参ります。また、病院機能の向上を目指し、昨年度は病院機能評価の更新があり、無事更新認定となりました。

働き方改革では当院は特定行為研修指定研修機関として始動後6年目となり、今年は外部医療機関を含め6名の入構者を迎えました。今年度は血糖コントロールに係る薬剤投与関連、栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連(持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整)、術後疼痛管理関連の3項目の行為を追加いたしました。引き続き特定行為看護師を育成し、地域の働き方改革の支援を行って参ります。

経営の改善とともにさらに機能を充実し、この地域の基幹病院としての役割を果たすべく、職員一丸となり鋭意努力していく所存ですので、皆さまのご支援、ご協力の程、よろしくお願ひ申し上げます。

**救急医療における当院の位置付け**

輪番制病院群第2次救急医療病院

- ☑成人救急空床確保病院 (2016年～)
- 福山・府中2次医療圏唯一 (2020年～)
- 2026年1月からは中国中央病院が内科系で参加
- 地域周産期母子医療センターとしての機能
- ☑産科の三次救急指定病院として医療体制 (GradeA 対応)
- ☑新生児医療の拠点 (NICU,GCU)

事務部長

平 和宏



職員の皆様におかれましては日頃より病院運営にご協力いただき、誠にありがとうございます。この場を借りて御礼申し上げます。

令和7年度につきましては、ご存じのとおり経営が大きく傾き、病院建替直後の平成29年度や新型コロナウイルスの打撃を受けた令和2年度をも上回るマイナス決算となる見込みです。これには、複数の要因がございます。ひとつには2年前の診療報酬改定、この改定により当院の高度急性期機能を、収益に、十分反映させることが難しくなりました。また、患者数が減少したことも要因となっています。一方費用においても電子カルテの更新、ほか大型医療機器の更新もあり、さらに外部要因として、新型コロナ後の需要の急回復、半導体不足・労働力不足などの供給制約の長期化、ロシアのウクライナ侵攻、アメリカ・イスラエルとイランとの紛争などにより原油・天然ガスなどの供給不安を招き、世界的な資源価格の高騰で急激な物価上昇を引き起こしました。当院の経営にも大きな打撃を与えることとなりました。

ただ、患者数が減少している中、診療内容をみますと一人ひとりの患者様に質の高い医療を継続して提供いただいております。病院機能評価でも全職

員の協力のもと、無事「認定」を受けることができました。また、国の適時調査でも大きな指摘はありませんでした。厳しい中でも職員がそれぞれの力を発揮し頑張っていたことに変わりはありません。

社会の情勢は依然不安定ではありますが、そのような中で迎える令和8年度は、当院にとって非常に大切な1年であります。落ち込んだ経営状況に回復の兆しをもたらす1年にしなければなりません。

令和8年度の診療報酬改定により診療収益は確実に増えますが、経営を黒字化する為には、令和6年度並みの患者数の確保が必須です。年末に竣工予定の手術室増設は大きな可能性を生みだしますし、CT増設、アンギオ更新は必要性を裏付ける計画を前提とした本部との協議が控えています。また、借入金についても返済を確実に執行して安定した資金管理に努めてまいります。依然跳ね上がる物価高騰の波を受けつつも削減努力を継続して行くつもりです。これらの達成は、病院幹部の適切な判断、覚悟と皆様のご理解とご協力なくしては達成することはできません。なんとしてでもこの状況乗り越え、福山医療センターを飛躍させるべく 皆さんの力をお貸しください。

行政機関等に対しても、この地域の医療提供体制の充実、強化を訴え続けるとともに補助金などの資金獲得に努めてまいります。

今年度も、各部門から増員の要望をいただいております。

医師の確保は、診療機能の充実及び全診療科の円滑な運営のため、稲垣院長を中心に、岡山大

学を始め関係大学にお願いしているところです。

また、医師以外の職員の増員につきましては、厳しい経営状況の中では簡単に認めてもらえるものではありませんが、病院運営に必要な人員の確保については、全力で取り組んでいきたいと考えております。

各部門におかれましては、配置の工夫や既存業務の見直し、効率化も引き続き ご検討いただきますようよろしくお願いいたします。

同時に人材育成や離職防止対策のための環境を整備するとともに、ITを活用した医療サービスの推進に取り組んでいきたいと考えております。

最後となりますが、わたくしはこの福山医療センターに着任して5年目を迎えました。ここに至るまでに多くの機構病院を見てきましたが、その中でも、この福山医療センターは、安定した経営が可能であり、高いポテンシャル、いざという時の底力、そういったものを持ち合わせた病院であると思っております。

減り続ける人口の中でも患者から選ばれる病院となり、労働力不足の中でも働きたい、働き続けたいと思える病院とするために、私自身も、幹部職員として、また、職員850名のうちのひとりとして、

患者が来てくれる手段を考え、

患者が増えても職員に負担の少ない環境を考え、頑張った分だけ豊かになる病院を目指したいと思っております。

この1年間、これまで以上に力を出し切って責務を全うしたいと考えておりますので、皆様のご理解とご協力を何卒よろしくお願いいたします。

わたくしからは 以上で ございます。

看護部長

金子 真由美



本年4月1日付で、前任の右野看護部長の後任として着任いたしました、金子でございます。よろしくお願ひ申し上げます。

はじめに、「飛躍する福山医療センター 令和8年度の取り組みと目標」および各部門から提出されました要望等を拝見いたしました。各部門の目標達成においては、看護部門が密接に関与しており、部門横断的な連携と協働が不可欠であると認識しております。今後も、患者視点を基盤としつつ、病院全体の利益につながる視点で、建設的に検討を重ねてまいりたいと考えております。

今回の診療報酬改定は、患者ニーズの多様化、医療機関の機能分化、ならびに地域医療構想の推進を背景に実施されたものであり、当院においても、これまで以上に組織としての総合力が求められております。院長先生がお示しくださっております「みんなで目指すSTARS」の方針のもと、全職員が病院経営に主体的に参画する姿勢が重要であると

考えております。また、HCU再開および手術室増設後の運用につきましては、人員配置、病床運用、入室基準等、単一部門で完結するものではなく、院内全体で課題を共有し、協力体制のもとで解決していく必要がございます。二次救急医療体制における空床確保病院としての役割を果たすためにも、患者を確実に受け入れられる体制整備は喫緊の課題であり、看護部としても積極的に関与してまいります。

続きまして、看護部門の取り組みについて申し上げます。

本年度は、主に3点を重点項目としております。

1点目は、看護職員の確保・定着および専任実習指導体制の充実です。

採用活動の強化により、看護師・助産師の応募者数は回復傾向にあり、厳しい社会情勢の中では一定の成果と受け止めております。併せて、臨地実習をリクルートの重要な機会と捉え、実習環境の整備および実習指導者の育成を進め、将来当院で働きたいと感じていただける体制づくりに取り組んでまいります。これらは、新規採用者のみならず、復職者や配置換え職員の円滑な職場適応にも寄与し、離職防止につながるものと考えております。

2点目は、業務の見直しと看護の質向上です。

4月1日現在、常勤看護職員数は477名となり、体制は一定程度確保されておりますが、育児・介

護、健康面等により配慮を要する職員もおります。夜勤専従制度等、多様な勤務形態を活用しながら、職員一人ひとりのライフステージに応じた働き方を支援してまいります。加えて、HCU再開や手術室増設を見据え、業務の洗い出しと適正配置を進めるとともに、看護DXの活用も視野に入れ、安全かつ効率的な体制構築に取り組んでまいります。

3点目は、看護職員のキャリア継続支援です。

当院の教育理念である「知的で優しく信頼される看護師」の育成に向け、ジェネラリストから専門・認定、特定行為、管理的役割まで、多様なキャリアの選択を支援してまいります。当院は特定行為研修指定研修機関として地域にも貢献しており、引き続き計画的な人材育成を進めてまいります。

これらの取り組みを進めるにあたり、医師をはじめ関係各部門の皆さまのご理解とご協力は不可欠であります。引き続き、格別のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、前任の右野看護部長が大切にされてきた「対話を重んじ、しなやかに、たゆまぬ努力を続ける組織でありたい」という思いを継承し、看護部一丸となって、当院のさらなる発展に貢献していきたいと思っております。

私からは以上でございます。

# 1.2026年診療報酬改定に向けて

藤川経営企画室長

6月から診療報酬改定がなされ、全体で3.09%のプラス改定となっております。

入院基本料については、病院機能に着目して急性期病院一般入院基本料が新設されます。当院は急性期病院Aを取得すべく準備しておりますが、要件としてエの部分、救急搬送件数2,000件、全身麻酔による手術件数1,200件が必要です。

重症度、医療・看護必要度については改定後の割合が1が27%、2が34%となっております。今回、内科系の評価について見直しされているのと、救急患者応需係数を患者割合に追加できるようになり。当院は3%程度加算見込みです。

今回の診療報酬改定を追い風にして経営が改善できるよう施設基準の取得等に取り組んでいきますのでよろしくお願い致します。

**【病院の機能に着目した急性期病院一般入院基本料の新設】**

急性期病院A一般入院料と急性期病院B一般入院料

観点	急性期病院A	急性期病院B
医療提供の役割	急性期病棟	地域急性期病棟
経営レベル	難症・重症中心	一般的な急性期
病院との関係	病院からの紹介受入れが多い	A病院等へ紹介する立場

**Aの施設基準要件**

ア 入院を要する(第二次)救急医療体制、救命救急センター若しくは高度救命救急センター又は総合周産期母子医療センターを設置している保険医療機関であること、又は24時間の救急患者を受け入れている保険医療機関であること。

イ 地域包括ケア病棟入院料(地域包括ケア入院医療管理料を含む。)の届出を行っていない(保険医療機関)であること。

ウ 画像診断及び検査を24時間実施できる体制を確保していること。

エ 救急搬送件数が年間で2,000件以上(夜間時間帯の受入が1割以上)、かつ、全身麻酔による手術件数が年間で1,200件以上。

スライド1

**【重症度、医療・看護必要度】**

現行	改定後(割合指数の基準)
割合①: 20%	割合①: 27%
割合②: 27%	割合②: 34%

割合① A得点が3点以上・C得点が1点以上のいずれか  
割合② A得点が2点以上・C得点が1点以上のいずれか

現行からの追加

- A項目「専門的な治療・処置」の項目のうち別に定める「抗悪性腫瘍剤の使用(注射剤のみ)」
- C項目「救命等に係る内科的治療」、別に定める「検査」や「手術」が追加

スライド2

**経営改善を目指して**

今回の改定では、病院の持つ診療機能によって施設基準を厳格化して真の急性期病院かそうでないかに分かれていますが、経営面からも当院が急性期病院として生き残っていくためには、急性期病院A一般入院料を算定する病院であることが重要となります。

(年間2000件以上の救急車応需が必要)  
多くの項目にわたり変更がありますが、取得ができるものについては全て取得しに行きます。

現在休床中のHCUの再開へ向けたWGを立ち上げ、早期再開を目指していきます。

スライド3

# 2.手術室増設に向けて

岡本企画課長

当院は、地域周産期母子医療センターとして本地域の周産期医療の最後の砦としての使命を担っている。

そのため、Grade A緊急カイザー症例に備え、現在7室ある手術室の1室(ルーム7)をGrade A緊急カイザー用として常に確保しているが、症例数は年間十数例程度とルーム7の稼働状況は芳しくなく、効率的な手術室運営上のネックとなっている。

この状況を改善するため、現在手術部門にある器材庫を新たに手術室として改修増設整備を行い、手術室の稼働の効率化を図る事が急務である。

本年2月に機構本部の投資同意を得て、3月の入札実施後、施工業者が決定した。

約4ヶ月の設計期間を経て8月上旬より着工となるが、工事期間中は他の手術を実施しながらの施工となるため、関係各位のご理解、ご協力をお願いする。

**背景**  
地域周産期母子医療センターとしての使命と手術室稼働率

当院は地域周産期母子医療センターとしてGrade A緊急カイザー対応に備え、手術室の1室(ルーム7)をGrade A緊急カイザー用として常に確保している。

Grade A緊急カイザー症例は年間十数例程度とルーム7の稼働状況は芳しくなく、そのため効率的な手術室運営上のネックとなっている。

スライド1

**機構本部承認に向けて**

- 投資協議申請
- 事前に本部個別窓口へ打診(院長、事務部長)


⇒償還性などの根拠資料を添え協議申請

令和7年12月15日 投資協議申請  
令和8年2月6日 本部投資同意

スライド2

**手術室増設に向けて**

工事期間中はご不便をおかけしますが、ご理解、ご協力の程、よろしくお願い致します。



スライド3

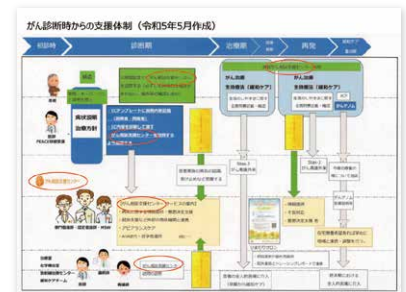
# 3.がん診療連携拠点病院としての役割

三好院長補佐・がん診療部長

福山医療センターは、広島県内12施設の国指定「がん診療連携拠点病院」のひとつです(令和2年4月、それまでの県指定から、国指定に昇格)。令和3年4月には、岡山大学病院傘下の「がんゲノム医療連携病院」18施設のひとつに指定されました。

「がん診療連携拠点病院」では、がん患者支援の窓口として、「がん相談支援センター」を設けるのが要件です。がん患者には、初診から治療開始までに、かならず一度は、センターを訪問していただき、就学・就労、妊孕性の温存、アピアランスケアに対応することが求められます。妊孕性の温存については、がん相談支援センターをワンストップ窓口として、遅滞なくがん治療を開始する体制を整備しています。アウトプットでは、がんをテーマとした市民公開講座を年1回開催し、中高生を対象としたがん教育出張講演も行っています。


令和8年度末には、がん診療連携拠点病院の指定更新が予定されています。更新手続きをクリアし、よりよいがん診療を目指したいと思います。



スライド1

**がん相談支援センター**

- かならず、「がん相談支援センター」と表記する
- 病院を挙げて、患者の全人的な相談支援を行う
- 就学・就労、妊孕性の温存、アピアランスケアに対応する
- 初診から治療開始までに、かならず一度は、センターを訪問する体制を整備する
- センターを訪問した患者数を把握し、認知度の継続的な改善に努める



スライド2

**令和8年がん診療部門の課題**

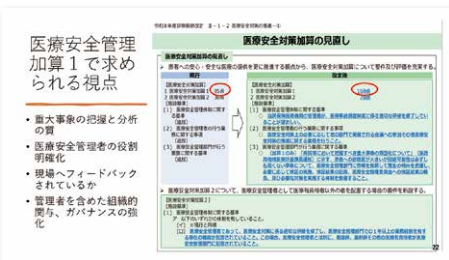
- 令和8年度末、がん診療連携拠点病院の指定更新
- 令和8年8月に更新される拠点病院整備要件に対応する必要あり
- がん診療の「均等化」から、「集約化」へのシフト
- 院内スタッフに対し、がん対策について学ぶ機会を年1回以上提供している

スライド3

## 4.医療安全の質向上に向けて

高田医療安全管理係長

医療安全の質を高めるためには、職種の垣根を越えたチーム医療と、多職種が安心して意見を出し合える心理的安全性が重要です。当院では日々の診療の中で連携を深め、気づきを共有することで事故防止に努めています。また、患者さんに治療やケアへ参画していただくことも、安全で納得のいく医療につながります。診療報酬改定も追い風に、医療安全管理室一同、より良い医療を目指して努力を続けてまいります。今後とも皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。



スライド1

## 5.新生児医療の現状と課題

岩瀬新生児科医長

当院は地区唯一の周産期母子センターに指定されています。通常分娩に加え、早産や母体合併症、胎児異常等のハイリスク症例の周産期管理、新生児仮死や出生後の呼吸障害等による新生児搬送と集中治療を365日24時間対応しています。福山市の出生数は年々減少傾向であり、当院の分娩数も減少傾向ですが、出生数に対する分娩数の割合は、2011年12%が2025年15%と上昇しています。出生数の減少により当院新生児センター入院数も減少傾向ですが、出生体重1500g未満の症例数と気管内挿管を伴う人工呼吸管理症例数は横ばいで推移しています。福山近隣の新生児医療において当院の果たす役割は大きく、今後も安心安全な新生児医療を行います。



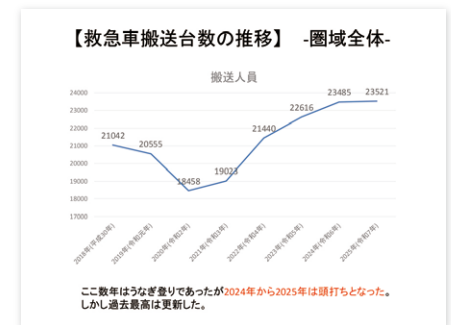
スライド1

## 6.救急医療の実情と当院の役割

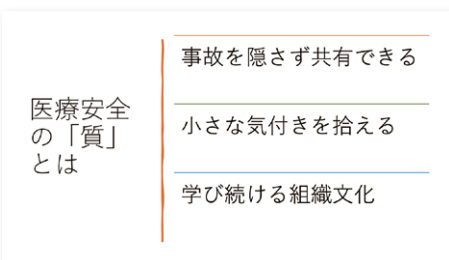
徳永救急医療部長

昨年、全国的に救急車の搬送件数は増加の一途を辿っています。そういった中でもこの圏域における当院の目指すべき立ち位置は、夜間診療所や当番(2次輪番)病院と協力しながら無駄な空床確保案件も減らした上で当院が対応すべき本当の2次症候別搬送症例や手術に直結する紹介患者に注力することと考えます。

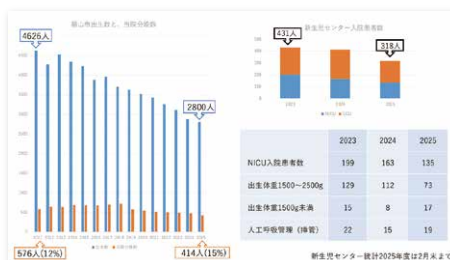
他施設や救急隊のご協力のもと当院への搬送症例も少しずつ選定されてきている印象はあります。しかし当院のcapacityの問題からも理想と現実には隔たりがあり一朝一夕に改善できない問題点も山積みです。皆様のご期待に充分にお応えできていないこともあろうかと思いますが、これからも当院の果たすべき役割を再認識し可能な限り尽力して参りますので今後とも直しくご協力の程お願い申し上げます。



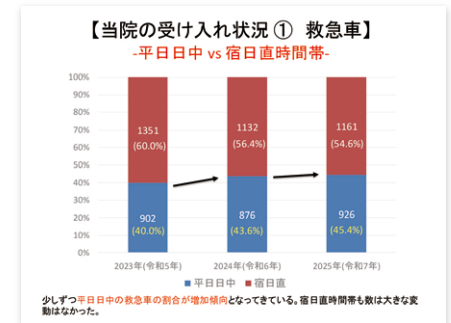
スライド1



スライド2



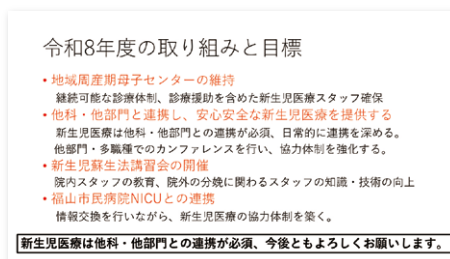
スライド2



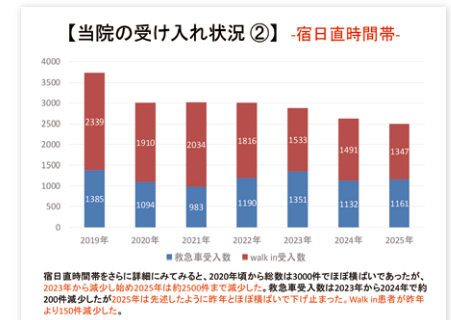
スライド2



スライド3



スライド3



スライド3

## 7. ロボット支援手術の新たな展開

寺石統括診療部長

ロボット支援手術は、これまでの「特別で高価な医療」から、より身近で幅広く活用できる医療へと進化しています。当院でも対象疾患の拡大とともに手術件数は着実に増加し、チーム医療による効率的で安全な運用が進んでいます。今後はコスト面の工夫を続けながら、若手医師の育成や技術の継承にも力を入れ、より質の高い医療の提供と地域医療への貢献を目指してまいります。また、診療報酬改定にも対応しながら、患者さんにとって安心できる治療環境づくりを進めていきます。皆さまに信頼される医療を目指します。引き続き取り組みます。

当院で行われているロボット手術

2018・2022年度の診療報酬改定  
前立腺がん、膀胱がん、腎がん、尿管がん  
直腸がん、結腸がん  
肝がん、すい臓がん  
肺がん

※2025年に導入したロボット手術

スライド1

当院のダヴィンチ手術件数の推移

2023: 339件, 2024: 1509件, 2025: 2549件

2025年度のロボット手術: 275件

スライド2

2026年のロボット手術運営の目標

- ロボット運用稼働率の維持 (250件/年)
- 器材コスト削減の継続的な取り組み
- 次世代の術者育成

スライド3

## 8. 化学療法とがん専門薬剤師の役割

高田がん専門薬剤師

当院の外来化学療法の件数は年々増加傾向で、外来化学療法室は満床傾向になっており、一部の患者様には長時間の待ち時間、または入院での化学療法や化学療法実施日の変更の提案を余儀なくされている状況にあります。そのため、外来化学療法室の運用方法を今までよりも一層考慮する必要があります。

本年度より皮下注射の化学療法が保険償還されることとなります。皮下注射のメリットとしては投与時間の大幅な削減が可能になることです。当院採用の皮下注製剤はまだ2種類のみですが、医師・看護師と協力し、新規薬剤を組み合わせながら安心・安全に、かつ効率的に外来化学療法室を運用していくことも我々薬剤師の役割と考えております。

昨年度までの当院の外来化学療法の実績

年度	件数
2022年度	3774
2023年度	4184
2024年度	4913
2025年度	5035

※2025年度は23月のデータ

当院の外来化学療法施行件数は右肩上がりが増加している。

スライド1

今年度からの新たな武器

外来腫瘍化学療法診療科の見直し

項目	旧	改
1. 外来腫瘍化学療法診療科1	1	1
2. 外来腫瘍化学療法診療科2	1	1
3. 外来腫瘍化学療法診療科3	1	1
4. 外来腫瘍化学療法診療科4	1	1
5. 外来腫瘍化学療法診療科5	1	1
6. 外来腫瘍化学療法診療科6	1	1
7. 外来腫瘍化学療法診療科7	1	1
8. 外来腫瘍化学療法診療科8	1	1
9. 外来腫瘍化学療法診療科9	1	1
10. 外来腫瘍化学療法診療科10	1	1
11. 外来腫瘍化学療法診療科11	1	1
12. 外来腫瘍化学療法診療科12	1	1
13. 外来腫瘍化学療法診療科13	1	1
14. 外来腫瘍化学療法診療科14	1	1
15. 外来腫瘍化学療法診療科15	1	1
16. 外来腫瘍化学療法診療科16	1	1
17. 外来腫瘍化学療法診療科17	1	1
18. 外来腫瘍化学療法診療科18	1	1
19. 外来腫瘍化学療法診療科19	1	1
20. 外来腫瘍化学療法診療科20	1	1
21. 外来腫瘍化学療法診療科21	1	1
22. 外来腫瘍化学療法診療科22	1	1
23. 外来腫瘍化学療法診療科23	1	1
24. 外来腫瘍化学療法診療科24	1	1
25. 外来腫瘍化学療法診療科25	1	1
26. 外来腫瘍化学療法診療科26	1	1
27. 外来腫瘍化学療法診療科27	1	1
28. 外来腫瘍化学療法診療科28	1	1
29. 外来腫瘍化学療法診療科29	1	1
30. 外来腫瘍化学療法診療科30	1	1
31. 外来腫瘍化学療法診療科31	1	1
32. 外来腫瘍化学療法診療科32	1	1
33. 外来腫瘍化学療法診療科33	1	1
34. 外来腫瘍化学療法診療科34	1	1
35. 外来腫瘍化学療法診療科35	1	1
36. 外来腫瘍化学療法診療科36	1	1
37. 外来腫瘍化学療法診療科37	1	1
38. 外来腫瘍化学療法診療科38	1	1
39. 外来腫瘍化学療法診療科39	1	1
40. 外来腫瘍化学療法診療科40	1	1
41. 外来腫瘍化学療法診療科41	1	1
42. 外来腫瘍化学療法診療科42	1	1
43. 外来腫瘍化学療法診療科43	1	1
44. 外来腫瘍化学療法診療科44	1	1
45. 外来腫瘍化学療法診療科45	1	1
46. 外来腫瘍化学療法診療科46	1	1
47. 外来腫瘍化学療法診療科47	1	1
48. 外来腫瘍化学療法診療科48	1	1
49. 外来腫瘍化学療法診療科49	1	1
50. 外来腫瘍化学療法診療科50	1	1
51. 外来腫瘍化学療法診療科51	1	1
52. 外来腫瘍化学療法診療科52	1	1
53. 外来腫瘍化学療法診療科53	1	1
54. 外来腫瘍化学療法診療科54	1	1
55. 外来腫瘍化学療法診療科55	1	1
56. 外来腫瘍化学療法診療科56	1	1
57. 外来腫瘍化学療法診療科57	1	1
58. 外来腫瘍化学療法診療科58	1	1
59. 外来腫瘍化学療法診療科59	1	1
60. 外来腫瘍化学療法診療科60	1	1
61. 外来腫瘍化学療法診療科61	1	1
62. 外来腫瘍化学療法診療科62	1	1
63. 外来腫瘍化学療法診療科63	1	1
64. 外来腫瘍化学療法診療科64	1	1
65. 外来腫瘍化学療法診療科65	1	1
66. 外来腫瘍化学療法診療科66	1	1
67. 外来腫瘍化学療法診療科67	1	1
68. 外来腫瘍化学療法診療科68	1	1
69. 外来腫瘍化学療法診療科69	1	1
70. 外来腫瘍化学療法診療科70	1	1
71. 外来腫瘍化学療法診療科71	1	1
72. 外来腫瘍化学療法診療科72	1	1
73. 外来腫瘍化学療法診療科73	1	1
74. 外来腫瘍化学療法診療科74	1	1
75. 外来腫瘍化学療法診療科75	1	1
76. 外来腫瘍化学療法診療科76	1	1
77. 外来腫瘍化学療法診療科77	1	1
78. 外来腫瘍化学療法診療科78	1	1
79. 外来腫瘍化学療法診療科79	1	1
80. 外来腫瘍化学療法診療科80	1	1
81. 外来腫瘍化学療法診療科81	1	1
82. 外来腫瘍化学療法診療科82	1	1
83. 外来腫瘍化学療法診療科83	1	1
84. 外来腫瘍化学療法診療科84	1	1
85. 外来腫瘍化学療法診療科85	1	1
86. 外来腫瘍化学療法診療科86	1	1
87. 外来腫瘍化学療法診療科87	1	1
88. 外来腫瘍化学療法診療科88	1	1
89. 外来腫瘍化学療法診療科89	1	1
90. 外来腫瘍化学療法診療科90	1	1
91. 外来腫瘍化学療法診療科91	1	1
92. 外来腫瘍化学療法診療科92	1	1
93. 外来腫瘍化学療法診療科93	1	1
94. 外来腫瘍化学療法診療科94	1	1
95. 外来腫瘍化学療法診療科95	1	1
96. 外来腫瘍化学療法診療科96	1	1
97. 外来腫瘍化学療法診療科97	1	1
98. 外来腫瘍化学療法診療科98	1	1
99. 外来腫瘍化学療法診療科99	1	1
100. 外来腫瘍化学療法診療科100	1	1

閉鎖式投薬器具を用いた抗がん剤投与時の評価の新設

【新】 投与時閉鎖式投薬器具使用加算 1.50点

スライド2

がん専門・指導薬剤師として・・・

- 皮下注レジメンの導入・運用による外来化学療法室の効率化
- 閉鎖式器具および閉鎖式投与ルート使用による曝露対策の拡充
- がんの認定・専門資格を有する薬剤師の増員
- 学会発表・論文作成の流れの支援

スライド3

## 9. 地域医療連携室の役割

木梨医療福祉相談係長

我々地域医療連携室は、今年度「地域連携」をより充実させ、地域の医療機関から『ファーストコールは福山医療センター』となるために、そして急性期病院を支える地域医療連携室としてシステム改善、活動等に取り組んで参ります。「地域連携」は病院全体、地域との信頼関係構築、全員参加型で進める必要がありますので、医師、看護師、コメディカル、事務等皆様のご協力が不可欠です。

急性期病院の第一印象を決める「前方連携」と急性期医療を支える専門職の誇り「後方連携」が両輪となり、病院と地域をつなぐ窓口として紹介患者のスムーズな受入調整、医療・看護・介護・行政との橋渡しに加え、経営面においても寄与できるように努めていきます。

急性期病院を支える地域医療連携室

- 病院全体で進める施策
- 地域との信頼構築のための活動
- 地域医療連携は全員参加型

スライド1

急性期病院の第一印象を決める 急性期医療を支える専門職の誇り

前方連携 + 後方連携 = 信頼される地域医療連携室

- 丁寧かつ迅速な電話対応
- 紹介時の相型に調整に対応する
- 調整に迅速する
- 顔の見える関係づくりを推進する
- 紹介が滞りがちな患者のケアを高める
- 一件一件の対応が信頼と紹介につながる
- スピード・調整力・対人対応力が求められる
- 地域医療を支える責任ある専門職である
- 紹介して良かった病院、を紹介する
- 迅速かつ丁寧な連絡対応を行う
- 相談・問い合わせの情報を迅速に伝える
- 困難事例でも誠実な姿勢で調整を行う
- 地域機関との顔の見える関係を構築する
- MSW・看護師それぞれの専門性が不可欠
- つなぐ力が患者の生活を守る
- 地域から信頼される急性期病院を支える

スライド2

「地域連携」をより充実させ、地域の医療機関から信頼され「ファーストコールは福山医療センター」となるために

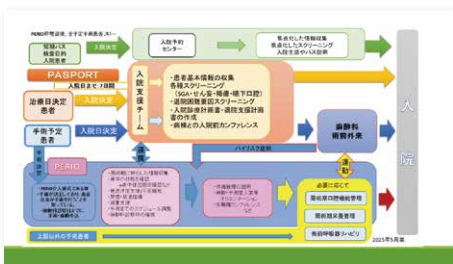
- 地域から信頼される関係構築
- 紹介システムの改善
- 紹介患者増による経営面へ寄与

スライド3

## 10. PERIOの体制と運用

末富PERIO看護師

周術期管理チーム(PERIO: Perioperative management team)では、麻酔科医師、薬剤師、歯科衛生士、栄養士、理学療法士、看護師など多職種が連携し、手術決定時から介入しています。麻酔科術前外来と連動しながら多職種で継続的に関わる体制を構築しています。面談や情報収集・スクリーニングを行い、術後の経過を良くするために患者さん自身にもできることをしようという意識を持ってもらい、次の闘病意欲へつなげるよう、患者参加型の周術期管理を目標としています。さらに常に手術室と連携し、術中体位固定が困難と予測される症例には患者参加型体位固定シミュレーションを実施するなど、切れ目ない看護と、快適で安全安心な手術や周術期環境を効率的に提供していきたいと考えています。

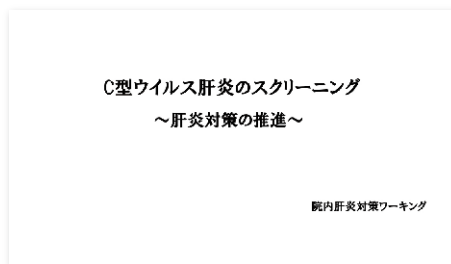


スライド1

## 11. C型ウイルス肝炎のスクリーニング

森川臨床検査技師長

C型肝炎のスクリーニングによる肝炎対策は、無症候のまま進行する感染者を早期に発見し、肝硬変や肝がんへの進展といった重症化を防ぐために重要である。特に感染に気づいていない潜在的患者の掘り起こしを課題とし、医療機関では外来や入院時の検査機会を活用した抗体検査の適切かつ確実な実施が求められる。また、陽性者には丁寧な結果説明とともに速やかに精密検査や専門医への紹介を行い、治療へ確実につながる体制整備を図る。さらに、多職種による院内連携を強化し、受検から治療まで切れ目のない支援を構築することで、肝炎対策の一層の推進を目指す。



スライド1

## 12. 糖尿病患者管理の実際

戸田認定看護師

当院では、岡山大学からの非常勤医師と連携し、入院患者の血糖管理を中心とした診療を行っています。住井医師との週2回のラウンドに加え、医師・看護師・管理栄養士など多職種で情報共有を行い、周術期や急性期における血糖変動へ迅速かつ的確に対応しています。特定行為であるインスリン量調整は月平均165件以上実施しており、患者の状態や生活背景を踏まえた個別最適な血糖管理を実践しています。さらにirAEによる高血糖緊急症への対応や教育入院、多職種連携による肥満症治療にも取り組み、継続的支援を強化しています。今後は特定行為研修の体制整備を進め、より質の高い看護実践につなげていきます。

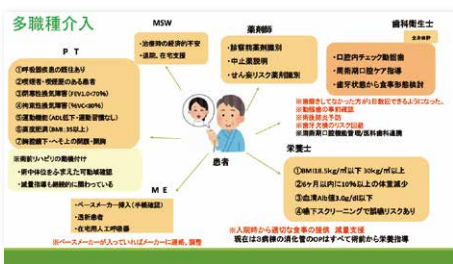
**糖尿病診療**  
【糖尿病内科の特徴と主な診療内容】

岡山大学からの非常勤医師と連携した診療

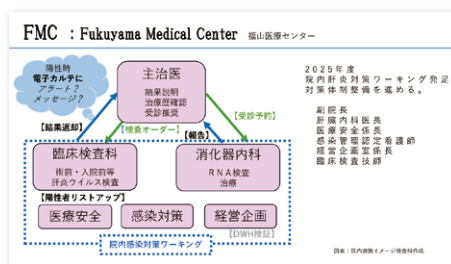
- ・血糖コントロールの調整 (入院中・周術期など)
- ・高血糖緊急症(irAE)への対応
- ・糖尿病教育入院 (可能な範囲で対応)
- ・住井医師と週2回のラウンド

福山医療センター Instagramより

スライド1



スライド2



スライド2

**2025年度の取り組み**  
循環器内科連携による肥満症治療 (現在15名の患者が治療中)

- ・ チーム体制  
医師/管理栄養士/糖尿病看護認定看護師
- ・ 食事療法・運動療法で効果不十分な場合、治療開始6か月後より薬物療法(GLP-1/GIP)開始となる。
- ・ 2026年度は、4月5月ともに週1名の栄養指導予約枠が満枠となり、患者ニーズの高さが示唆される。今後、対象患者の増加が見込まれる。

スライド2

**目標**

- ◆ 生活者として患者さんを支えることができる
- ◆ 術後の急性期にコントロール感覚が維持できるよう、イメージ化の手助けができる
- ◆ 患者さんが、チームの一員として術前の期間が過ぎ、前向きに安全に手術が望めるように、患者さん自身もできることを意識を持つことができる
- ◆ 入院前・術前から退院後の生活も見据え、早期から必要な職種やサポートへ繋ぐことができる

**チームとして患者さんを支えることができる チームコーディネーターとして働けるようになりたい!**

スライド3

**まとめ 2030年に向けて肝炎対策は**

<b>社会的目標</b> - SDG 3 - WHO - MHLW	<b>病院</b> - 診療ニーズの掘り起こし (経済的+) - 院内感染対策 - 医療安全 (感染リスクの低減)	Win-Win を目指す取り組み 何卒ご理解とご協力を よろしくお願いたします。
<b>患者</b> - HCV検査を正しく知る - 治療 - 肝がん発症リスクの低減	<b>院内感染対策ワーキング</b>	<b>肝炎対策ワーキング</b>

スライド3

**2026年度の新たな取り組み**  
特定行為研修の開講準備

【特定行為区分】

- ・ 栄養・水分管理に係る薬剤投与関連
- ・ 血糖コントロールに係る薬剤投与関連

2027年度開講に向けた体制整備、指導体制の構築を進めている。

スライド3

## 13. 当院における 臨床工学技士の役割と 今年度の取り組み

小川臨床工学技士

当院の臨床工学技士は6名在籍しており、医療機器の保守管理から、臨床業務（医療機器の操作）まで多岐にわたる業務を担っています。

多くの医療機器は臨床工学技士による点検したのち患者様へ使用されています。患者様へ安心、安全な医療が提供できるよう、医療機器の保守管理に取り組んでいます。臨床業務では病棟だけでなく、手術室や内視鏡センターなどで、医師の指示のもと専門的な機器操作を行っています。近年、手術室ではロボット支援手術や、整形外科のナビゲーション操作や神経モニタリング業務など専門技術が必要となる業務が増えており、医師、看護師と共にチーム医療の一員として治療に参画しています。

今後も最新の知識を研鑽し、一人ひとりがスキルアップを図ることで、常に安心・安全な医療を提供できるよう努めていきます。

### ME管理室スタッフ

#### スタッフ

主任臨床工学技士1名、臨床工学技士5名 計6名  
(経験年数全員15年以上)

#### 認定資格

透析技術認定士4名、認定血液浄化臨床工学技士1名、3学会合同呼吸療法認定士2名、体外循環技術認定士1名、第二種滅菌技士1名、医療情報コミュニケーション2名、臨床検査技師1名、臨床工学技士告示研修終了2名

スライド1

### 業務内容(2025年度対応業務)

- **医療機器管理業務**  
医療機器の保守管理、医療機器の中央管理、勉強会の実施など
- **手術室業務**  
手術支援ロボット対応、術中神経モニタリング業務、ナビゲーション操作、術中Cアーム操作、自己血回収装置操作、医療機器導入援助、トラブル対応など
- **内視鏡業務**  
内視鏡装置セッティング、ESD、EMR、カプセル内視鏡、LECS、トラブル対応など
- **病棟業務**  
人工呼吸器導入管理援助、在宅人工呼吸器患者導入支援、トラブル対応など
- **その他**  
心臓カテーテル検査、心臓ペースメーカー外来対応、心臓ペースメーカー患者手術MRI撮影等対応、RFA(ラジオ波焼灼療法)、CART(脱水濃縮再静注法)など

スライド2

### 今年度の新たな取り組み

- ナビゲーション操作業務の拡大
- 生体情報モニタの定期点検の実施と医療安全対策
- 専門業務実施人数の増加
- 臨床工学技士告示研修の取得
- 臨床検査技師告示研修の取得

スライド3

## 14. ペイシエント ハラスメントへの対応

中川専門職

近年、患者さんやご家族による暴言・長時間拘束・不当要求といったペイシエントハラスメントが大きな問題となっています。医療従事者の精神的負担や離職につながるだけでなく、他の患者さんの心理にも悪影響を及ぼしてしまいます。

福山医療センターでは、「職員が安心して働ける」「患者さんが安心して診療できる」の両面から、ペイシエントハラスメント対策を講じています。

まずは患者さんとしっかり対話をして、その上でペイシエントハラスメントに該当するような事案が発生した場合は、組織として毅然とした対応をさせていただいております。

**レベル1：初期対応  
(共感的傾聴と境界設定)**

- 対象となる状況
  - 不満の表明、繰り返しのお訴え
  - 待ち時間へのクレーム
  - 軽度の要求や不平不満
- 具体的な対応方法
  1. まず相手の気持ちを受け止める  
「長時間お待ちありがとうございます」「ご不便をお察し、お察しいたします」
  2. できること・できないことを明確に伝える  
「規則により〇〇はできませんが、△△であれば対応可能です」「医師の指示により、これ以上の投薬はできません」
  3. 代替案を提示する  
「こちらの方法でしたら、ご要望に近い形で対応できます」

スライド1

**レベル2：エスカレーション対応  
(複数名対応と組織的警告)**

- 対象となる状況
  - 大声での威圧、罵声
  - 「誠意を見せろ」等の脅し
  - 執拗な要求の繰り返し
- 具体的な対応方法
  1. 一人に対応しない
  2. 冷静かつ毅然とした態度で警告  
「他の患者様のご迷惑になりますので、お静かにお願いします」「これ以上続けられる場合は、廃棄による対応させていただきます」
  3. 記録を残す (SW1Hで詳細に)

スライド2

**レベル3：緊急対応  
(警察通報と診療拒否)**

- 対象となる状況
  - 暴力行為 (殴る、物を投げる)
  - 脅迫 (「殺すぞ」「訴えてやる」)
  - セクシャルハラスメント
- 具体的な対応方法
  1. 身の安全を最優先に確保
  2. たまらず110番通報
  3. 組織として診療・サービス提供を拒否  
「暴力行為により、今後の診療は行いません」「警察に通報いたします」

スライド3

## 運営方針

### (1) 『皆で目指すSTARS』

- **Safety**  
安全に留意し
- **Tolerance**  
寛容な心で
- **Academic**  
アカデミックマインドを持ち
- **Responsibility**  
自らの仕事に責任を持って
- **Sustainability**  
持続可能な医療の提供を目指す  
プロフェッショナルな個々人が輝く  
stars(星々)となる。

### (2) 『Collaborate on projects, unite mind, and create tough team』

課題に協力して取り組み、心を一つにし、強靱な組織を作り上げていくことが信条です。

## 病院目標

- (1) 質の高い医療の維持と提供
- (2) 通常医療の持続可能性担保
- (3) 周産期医療を含めた急性期医療体制の強化
- (4) 働き方改革にむけた体制の推進



# 病院機能評価〈3rdG:Ver.3.0〉の認定を受けました



日本医療機能評価機構  
認定第 JC2364-2 号



院長 稲垣 優

病院機能評価更新の受審を昨年10月に受けました。今回は機能種別版評価項目〈3rdG:Ver.3.0〉の受審ということで、前回より内容がかなり更新され、領域も多岐に渡り、ハードルが高くなっており、受審前は何度もシミュレーションを繰り返し、準備を整えて参りました。

今回特に苦労したのは臨床倫理の課題で、審査の指摘項目に対し、追加的審査を受け、4月3日に日本医療機能評価機構から審査結果が届き、無事認定と

なりました。職員の皆様には、審査に向けた準備、受審の対応を含め、多大なるご協力を心より感謝申し上げます。

今後も病院の機能向上を目指し、今回指摘された項目を含め、改善に努め、さらに安全で効率的な病院運営を目指すことを心掛け、より良い病院造りに取り組んでいきますので引き続き当院へのご支援よろしくお願い申し上げます。

# 特定行為研修

## 2026年度 特定行為研修入講式を迎えて



院長  
稲垣 優

厚生労働省管轄の特定行為研修指定研修機関として2021年4月より特定行為研修を開始し、6年目を迎えました。4月6日に入講式を行い、6名の入講者を迎えました。昨年度までに約14000人の看護師が特定行為研修を修了していますが、厚生労働省が目指す10万人には道程は遠い状況です。しかしながら、関心の度合いが高まっているのは事実で、6名の入講者のうち、4名は外部医療機関からで、術中麻酔領域パッケージに2名、動脈血液ガス分析関連2名、栄養に係るカテーテル管理の末梢留置型中心静脈カテーテル(PICC)関連6名、中心静脈カテーテル(CV)関連2名と特定行為研修への関心の高さの現れであると確信しております。

当院の特定行為研修プログラムも指導者が運用に慣れ、スムーズにプログラムを進めることが可能となり、研修者が複数名でも適切に指導し、修了者を輩出しています。

当院のプログラムは2025年度に栄養に係るカテーテル管理関連(PICCの挿入、CVの抜去)の項目を追加し、今年度は血糖コントロールに係る薬剤投与関連、栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連(持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整)、術後疼痛管理関連を追加致しました。引き続き特定行為看護師を育成することにより、看護師のスキルアップ、キャリアアップへと繋げ、現在進められている働き方改革の重要な取り組みとしてさらに推進して参ります。地域の医療機関の皆様におかれましては自施設からの特定行為研修へのご応募を是非ご検討頂ければ幸いです。研修内容の検証を行いながら、この研修プログラムをステップアップし、地域に還元すべくスタッフ一同、鋭意取り組んで参りますのでよろしくお願い申し上げます。



## OPEN CONFERENCE

2026年4月10日 開催

大腸がん個別化医療  
激動の1年を振り返る

北海道大学病院  
消化器内科 講師  
結城 敏志

福山医療センター オープンカンファレンスに  
お声がけいただいて

きっかけは昨年9月であった。某社の企業講演(胃がん)に招聘され、福山を初めて訪れた。ホテルの窓からは福山城が間近に見え、夜にはライトアップされたその姿に感動したのを覚えている。その講演終了後の懇親会で、2人の若手医師が私に近づいてきた。30歳代前半でありながら消化器がん薬物療法に対する知識が深い住井遼平先生、そして病理医でありながら大腸がん薬物療法に関する臨床やEBMの知識が非常に豊富な表梨華先生である。お二人からは講演内容を超えた、しかもかなり深い質問を投げかけられ、強く感心した。その後もメールでのやり取りが続いていたが、大腸がんに関する講演依頼をいただき、今回の再訪につながった。

2026年4月10日、自宅のある札幌を午前9時に出発し、伊丹空港、新大阪駅を経由して、15時27分に福山駅に到着した。ホテル近くで遅めの昼食として尾道ラーメンをいただいた後、福山医療センターへ向かった。病院の応接室に案内された直後、懐かしい2人の顔があった。診療の合間というお忙しい中、時間を割いて会いに来てくださったのである。講演までの時間、3人でがん薬物療法について語り合い、有意義なひとときを過ごした。お二人の熱意は前回お会いしたときから少しも衰えることなく、むしろ一層高まっており、大変嬉しく感じた。

18時00分、「大腸がん個別化医療—激動の1年を振り返る—」の講演が開始された。最近では30~45分の講演が多い中、今回は90分という時間をいただき、通常よりもゆとりをもって詳細に解説することができた。昨年、大腸がん薬物療法の領域では、個別化医療において大きなパラダイムシフトとも言える新たな治療が登場した。MSI-H/d-MMR大腸がん一次治療におけるニボルマブ+イピリムマブ併用療法、BRAF V600E遺伝子変異陽性大腸がん一次治療におけるmFOLF-  
OX6+エンコラフェニブ+セツキシマブ併用療法、そしてKRAS G12C変異陽性大腸がん後方治療におけるソトラシブ+パニツムマブ

併用療法である。講演時点ですでに保険収載され、臨床現場に導入されていたが、それらが承認に至る経緯やサブグループ解析の結果について詳しく解説した。講演中、壇上から聴衆の様子を拝見していたが、とりわけメディカルスタッフと思われる方々が熱心にメモを取りながら聴講されている姿が印象的であった。福山医療センターにおいて、これほど真摯にがん薬物療法に取り組まれていることに触れ、この病院の将来は明るいと感じた。

講演終了後は、豊川達也先生、寺石文則先生をはじめ、薬剤部の皆様にもご参加いただき、和やかな懇親の場を設けていただいた。美味しい日本酒や料理をいただきながら、がん薬物療法や今後のあるべき姿について語り合った時間は大変有意義で、あっという間に過ぎていった。福山医療センタースタッフの結束力の強さを強く感じる事ができた一日であった。機会があればぜひ再訪し、皆様と再び語り合いたいと願っている。

最後に、住井先生、表先生、このたびはこのような貴重な講演の機会をいただき、誠にありがとうございました。

【地域医療従事者研修会】

国立病院機構福山医療センター  
オープンカンファレンス

【演 題】

『大腸がん個別化医療  
激動の1年を振り返る』  
カリキュラムコード0(1.5単位)

【講 師】

北海道大学病院 消化器内科 講師

結城 敏志 先生

【日 時】 2026年4月10日(金)18:00~19:30  
(17:30より受付開始)【場 所】 国立病院機構福山医療センター  
外来管理棟4階 大研修室「熊ヶ峰ホール」

【座 長】 福山医療センター内科医師 住井 遼平



独立行政法人 国立病院機構  
福山医療センター  
National Hospital Organization FUKUYAMA MEDICAL CENTER

当講演会は、院内外を問わず、医療機関全ての方を対象とさせて頂いております。お気軽にご参加ください。



# Publish



病理診断科  
園部 宏



病理診断科  
表 梨華



胸部外科  
高橋 健司

この度、Medical Molecular Morphology (2026) 59:71-78 に、A rare case of thymoma with extensive clear cell components: a discussion of its clear cell transformation (広範な明細胞成分を伴う胸腺腫の稀な一症例: その明細胞化の考察) Hiroshi Sonobe · Rika Omote · Kenji Takahashi · Hiroyuki Yanai · Hiroki Kajihara · Hirofumi Nakayama · Ichiro Murakami · Yuki Hanamatsu が掲載されました(最新のインパクトファクターは1.1)。

Medical Molecular Morphology (2026) 59:71–78  
https://doi.org/10.1007/s00795-025-00450-2

## CASE REPORT



### A rare case of thymoma with extensive clear cell components: a discussion of its clear cell transformation

Hiroshi Sonobe<sup>1</sup> · Rika Omote<sup>1</sup> · Kenji Takahashi<sup>2</sup> · Hiroyuki Yanai<sup>3</sup> · Hiroki Kajihara<sup>4</sup> · Hirofumi Nakayama<sup>5</sup> · Ichiro Murakami<sup>6</sup> · Yuki Hanamatsu<sup>7</sup>

Received: 27 December 2024 / Accepted: 22 June 2025 / Published online: 6 November 2025  
© The Author(s) under exclusive licence to The Japanese Society for Clinical Molecular Morphology 2025

#### Abstract

We report a rare case of thymoma with extensive clear cell components, and discuss the histogenesis of clear cell transformation. Although thymic clear cell carcinoma is classified as a subtype of thymic carcinoma, thymoma with extensive clear cell components has not been recognized as a subtype in the World Health Organization classification (2021). Therefore, such thymomas may be erroneously misdiagnosed as clear cell carcinoma. Thymic clear cell carcinomas are positive for glycogen, with a high Ki67 index, whereas the clear cell component of the present tumor was negative, with a low index; this difference may help to distinguish thymomas with extensive clear cell components from thymic clear cell carcinomas. In this tumor, spindle cells predominantly proliferated in the center, whereas clear cells were densely distributed in the periphery. Hence, the initial tumor likely consisted of spindle cells, some of which transformed into clear cells as the tumor grew larger. In addition, nuclei of the clear cells were occasionally positive for autophagy-related 4 cysteine peptidase. Electron microscopically, clear cells with eccentrically located nuclei and cytoplasm contained large vacuoles, in which irregularly shaped membranous structures were observed. The histology, immunohistochemistry, and ultrastructure suggest that clear cell transformation represents a type of cellular degeneration.

**Keywords** Thymoma · Clear cell · Histogenesis · Thymic carcinoma · Spindle cells · Tumor

#### Introduction

In thymic epithelial tumors, thymomas usually have a good prognosis, whereas the prognosis of thymic carcinomas is poor [1–5]. In the World Health Organization (WHO) classification (2021) [4, 5], thymic carcinomas are classified into several subtypes, including clear cell carcinoma. Thymomas are diverse in histology, prognosis, and histological subtypes, including type A, type AB, type B, micronodular thymoma with lymphoid stroma, metaplastic thymoma, and lipofibroadenoma. Thymomas characterized by clear cell components have not been recognized as a subtype, although 19 cases have been reported [6, 7]. Recently, we encountered a rare case of thymoma with extensive clear cell components; here, we report the clinical, macroscopic, histological, histochemical, immunohistochemical, and electron microscopic findings. Based on these findings, the histogenesis of the clear cell transformation in the present tumor was suggested to be indicative of a process of degeneration.

✉ Hiroshi Sonobe  
hisonobe@gmail.com

- Department of Diagnostic Pathology, National Hospital Organization (NHO) Fukuyama Medical Center, 4-14-17 Okinogami-cho, Fukuyama, Hiroshima 720-8520, Japan
- Department of Thoracic Surgery, National Hospital Organization (NHO) Fukuyama Medical Center, Fukuyama, Hiroshima 720-8520, Japan
- Department of Diagnostic Pathology, Okayama University Hospital, Okayama, Okayama 700-8558, Japan
- Tumor Registry, Hiroshima Prefectural Medical Association, Hiroshima Hiroshima 732-0057, Japan
- Department of Pathology and Laboratory Medicine, JR Hiroshima Hospital, Hiroshima 732-0057, Japan
- Department of Pathology, Kochi Medical School, Kochi University, Nankoku, Kochi 783-8505, Japan
- Department of Pathology and Translational Research, Gifu University School of Medicine, Yanagido 1-1, Gifu 501-1194, Japan



72

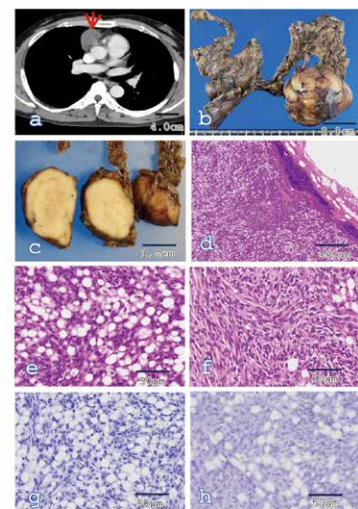
Medical Molecular Morphology (2026) 59:71–78

#### Clinical summary

A male patient in his late 30s was repeatedly admitted and discharged from another hospital for approximately 4 years for the treatment of alcoholism. The patient was admitted to our hospital for acute pancreatitis. At that time, contrast-enhanced chest computed tomography (CT) revealed a mass measuring 4.3 cm in maximum diameter with a clear border

in the anterior mediastinum. Its interior showed moderate signal intensity, suggesting a thymoma (Fig. 1a). The results of contrast-enhanced magnetic resonance imaging were also consistent with thymoma. The patient had no clinical symptoms of myasthenia gravis, and anti-acetylcholine receptor antibodies were also negative. After the pancreatitis improved, and the patient's condition stabilized, a total thymectomy was performed with a nodular lesion in the

**Fig. 1** Image and histological findings of the tumor. **a** Computed tomography showing a well-bordered 4.3 cm mass (red arrow) with moderate signal intensity in the anterior mediastinum. **b** Grossly, a nodular tumor is present in the lower part of the left thymus. **c** Clear surfaces of the tumor were yellowish-white with no necrosis or hemorrhage. **d** Clear cells were densely distributed in the tumor periphery (H&E). **e** Higher magnification of the clear cells in Fig. 4 (H&E). **f** Spindle cells predominantly proliferated with a few clear cells in the tumor center (H&E). **g** Clear cells had no glycogen (D-PAS). **h** Clear tumor cells had no fat in frozen section made from formalin-fixed tissue (Oil red O). **i** HIF-1 immunostaining and **j** centrin staining. **k** PAS-periodic acid-Schiff with diastase digestion



# いろんなテーマでつぶやきます 外科医のひとりごと

## Vol.78 「いわき市の赤飯廃棄に思うこと」



福山医療センター  
院長補佐  
大塚 眞哉

プロフィール  
1990年岡山大学医学部卒、医学博士。岡山済生会病院、岡山大学などを経て99年から福山医療センター外科勤務。専門は消化器外科、特に胃がん大腸がん外科。岡山大学医学部臨床教授、日本内視鏡外科学会評議員で、ESMO(欧州臨床腫瘍学会)などに所属。座右の銘は山本五十六の「やってみせ、言って聞かせて、させてみて、ほめてやらねば、人は動かじ」。

### 小豆は邪気を払う

福島県いわき市の中学校で3月11日、卒業祝いとして給食に赤飯が準備されていました。「震災の日に赤飯はいかがなものか」という保護者と称する人からの匿名の電話があり、同市教育委員会は二一〇〇食を廃棄処分にしたそうです。

学校給食法では衛生管理のため、残品は全てその日に処分することになっており、提供を中止した時点で廃棄するしかなかったようですが、二〇〇件の苦情電話があったそうです。

赤飯は祝いの席に出されるだけでなく、小豆の赤色に邪気を払う力があるとされ、地方によっては仏事な

どでも食されているようです。この問題を二つの観点から考えてみたいと思います。

### 【Noisy minority】

まずは「少数意見で行政判断が左右されても構わないのか？」ということですが、民主国家では基本的に多数決で物事が決まりますが、多様性の観点からは少数意見も大事にしないといけません。

しかし、少数でも過激で目立つ意見は「ノイジーマインオリティー」といわれ、SNSでも問題となっており、民意に照らして、極端なものを受け入れるべきでないと思います。

テレビでも重要な政策や裁判について、「街の声」と称して街頭インタビューが実施されますが、必ず賛成と反対の意見が出ます。賛成・反対が拮抗しているのであればいいのですが、どちらかに偏っている場合でも、それがテレビ局の意向

に沿わない結果である場合には、あたかも同数意見のように取り上げられる傾向にあります。

### 【SDGsの観点から】

二つ目はSDGsの観点です。食育基本法の第三条には「食に関わる人々の活動への感謝の念が深まる配慮を行う」と定められています。

今回の抗議に対しては「東日本大震災でたくさんの方が失われ、食べ物にも困った。その年に生まれた生徒が無事に中学卒業を迎えられたことを祝い、赤飯を給食として出している」と説明すればよかったです。

2019年に施行された食品ロス削減推進法では国や自治体、事業者が食品ロス削減への取り組みを求めています。食品リサイクル法では事業者を対象に、食品廃棄物の排出抑制と有効利用(飼料・肥料化)を定めています。

23年の日本の食品ロス

は四六四万トンでした。国連のWFP(世界食糧計画)が実施した食料支援も多量となりました。近年、スーパー(株)ハローズ(本部・岡山県早島町)をはじめとした小売業では、フードバンクを活用して廃棄食品の減少に努めています。

「いただきます」は、稲作の神様への感謝の心を表す言葉に由来し、米や野菜、魚肉など全ての食材には命があると考え、その命を頂くことで自分が生かされていることに感謝する言葉です。食材を育てたり、食事を作る人に対する感謝の心を示す意味もあります。

食品ロスの半分を占める家庭でも、「いただきます」「もったいない」の精神の下、残飯を減らしたり消費期限の古い物から買うなどの努力が重要です。



連載  
No.132

## 在宅医療の現場から

大好物が、もう一度食べる希望に  
— 食卓の記憶に寄り添う「食べる支援」—

訪問診療で患者さんのお宅に伺うと、そこには診察室では見えない風景があります。台所の匂い、いつもの椅子、使い慣れたお茶碗、家族が座っていた場所。食卓には、その人がどのように生きてこられたのか、その物語があふれています。私はこれまで、二万人近い患者さんの「食べる」を支えてきました。

当院には、食べることを支える専門のチームがあります。

歯科医師、歯科衛生士、管理栄養士、言語聴覚士が連携し、口の状態、飲み込みの力、栄養、食事の形態、生活の背景を多角的に見ていきます。

必要に応じて嚥下内視鏡検査や嚥下造影検査を行うこともあります。

そして大事にしたいのは、「もう一度食べたい」と思える気持ちです。

食べる力を支えるためには、身体の状態を知ることと同じくらい、その方の人生の中にある食卓の記憶に耳を傾けることが大切だと感じています。



訪問診療部 部長  
歯科医師

猪原 光

## ■大好物はなんですか？

時折、私は患者さんに丁寧にこう尋ねます。

「大好物は何ですか」。

ある患者さんは、海の近い町で育ち、長年、漁にも出ておられた方でした。

魚を食べることは、ご本人にとって日常であり、家族との思い出でもありました。

病気や加齢によって食べることが難しくなったとき、その方がぼつりとおっしゃいました。



「先生、魚が食べられるということは、自分にとって人生そのものなんです。海と共に生きてきたからね。何とか、もう一度美味しく魚を食べられるといいなあ」。

私たちは、もう一度、その方が魚を美味しく食べるための支援を始めました。

その時間は、その方の人生に伴走する時間でもありました。

また、重い嚥下障害を患い、食べることにすっかり自信を失っていた患者さんもいらっしゃいました。丁寧に思いを聞く中で、お聞きしました。

「大好物は何ですか」。

その瞬間、患者さんの表情がふっと変わりました。

「先生、大好物を聞いてくださるんですね。病気になってから、食べることが難しくなって、誰もそんなことを聞いてくれなくなりました。嬉しいな。もう一度、大好物を想像してもいいんですね」。

その日を境に、ご本人の中に少しずつ食べる意欲が戻ってきました。

すぐに何でも食べられるようになったわけではありません。

それでも、「いつか、もう一度あれを食べたい」という思いが、小さな灯りになりました。

「大好物は何ですか」という問いは、あきらめかけていた心に、もう一度食卓の風景を思い出させることがあります。

これからも小さな希望を紡ぎながら、地域の中で、幸せな食卓に伴走していきたいと思えます。

医療法人社団 敬崇会

 猪原 [食べる]  
総合歯科医療クリニック

〒720-0824

広島県福山市多治米町5丁目28-15

TEL 外 来/084-959-4601

訪問部/084-959-4603

FAX 外 来/084-959-4602

訪問部/084-959-4604



# 面白い生物の世界 と クラシック音楽



臨床検査科 特別診療役  
長谷川 利路

私がこれまでに扱ってきた小児外科疾患の殆どは、胎児期での臓器や器官の発生における異常が原因となります。この臓器や器官は最初たった1つの受精卵から様々な分化を来すわけですが、学生や研修医、看護師さんたちから「たった一つの細胞からどうやって様々な器官が分化するのですか?」「染色体が突然変異とか起こすのですよね?」「どの細胞になっていくのかは、最初から決まっているのですか??」など。考えてみれば不思議な現象ですが、ここで登場するのが「エピジェネティクス(後世学)」という概念なのです。

## 器官発生のメカニズムと エピジェネティクス

私たちの身体はいくつもの臓器から成り立ちますが、それを構成する組織は200種類以上、さらにその成分の細胞は37-70兆個にも及びます。その最初の細胞はたった1個の受精卵で、細胞分裂を開始し、2分割、4分割と卵割を行い、桑実胚を経て子宮内膜に着床して胎盤が出来ていきます。その過程で内部に杯盤腔という腔(体の中で空になっている部分)を形成し、それに偏在した形で内細胞塊が出来ます(図1赤枠)。これにはちに内胚葉、中胚葉、外胚葉の三胚葉に分化する能力を持つ多能性(Pluripotency)細胞で、後述するようにそれぞれ決められた組織や器官に分化していきます。

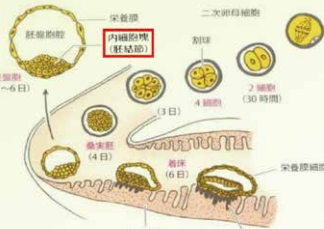


図1 受精卵の卵割と着床  
(白澤信行著:新発生学、日本医事新報社より引用)

これらの過程は組み込まれた(プログラムされた)遺伝子の情報に従って順序よく正しく行われていきます。内胚葉からは肺や消化管、中胚葉からは心臓や筋肉、腎臓や赤血球、外胚葉からは皮膚、脳神経などが発生するのですが、発生、分化の過程において遺伝子そのもの、つまり最初からあるゲノムDNAの遺伝子は変更せず、後から起きる変化によって遺伝子が発現してそれぞれの細胞、組織に分化するわけです(図2)。これをエピジェネティクスといいます。ちょっと難しいですが、要するに最初受精卵が有するゲノムDNAの塩基配列は終生変わらないのに対し、少しだけ修飾されて安定的に性質がかわっていき受け継がれていく表現型です。これによって様々な現象が理解できるようになった新しい分野です。

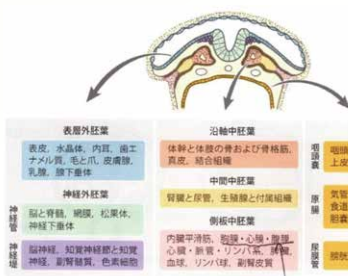


図2 外胚葉、中胚葉、内胚葉の分化。(新発生学より)

## エピジェネティック・ランドスケープ

エピジェネティクスの概念はイギリスの発生生物学者、コンラッド・ワデントンにより提唱されたもので、これを分かりやすく説明するために、彼は1957年「エピジェネティック・ランドスケープ」という概念的な地形図を考案しました(図3)。図3のボールが細胞をボールの位置が細胞分化の状態を表し、一番高い赤の位置にある状態がどんな細胞にも分化しうる全能性の状態とします。この状態からの変化は高い位置から低い手前の方にボールが転がり落ちることで表されます。最も低い位置にある黄、オレンジ、青、緑のボールは、それぞれ神経細胞、消化器、循環器、呼吸器の細胞など最終的に分化したものです。一旦分化した細胞は通常別の細胞にならないことは、違う谷に入ったボールが別の谷には移れないことから理解され、また細胞分化のプロセスが未分化から分化への1方向しか流れないことはボールが高い位置から低い方にしか転がり落ちないことで表わされます。ここで、その分化が逆戻りするiPS細胞作製のようなリプログラミングは重力に逆らうものであることを考えると驚くべきことです。

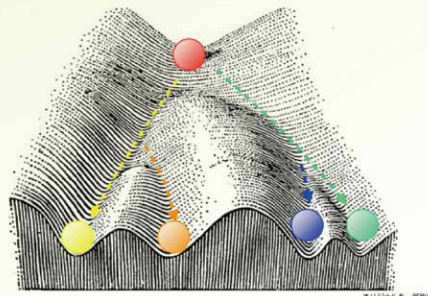


図3 エピジェネティック・ランドスケープ 高い位置(赤)が全能性を有する未分化の状態を表し、分化するにつれて低い位置(黄、オレンジ、青、緑)に落ちる(ウイキペディアより引用)

## エピジェネティクスの分子機構

遺伝情報はDNAにおさまっているわけですが、実際に細胞内で機能するのは蛋白質です。まず核内にDNAが存在し、これがメッセンジャーRNAに転写され、その後たんぱく質に翻訳されます。この機構をセントラルドグマ(中心教義)と言います(図4)。このうち遺伝子の発現を制御するのが「エピジェネティック修飾」で、DNAのメチル化により抑制され、DNAを収納する糸車のようなヒストンのアセチル化により活性化されます(図5)。すなわちDNAの塩基配列を変えないでいわばマイナーチェンジがおり、これらが細胞の分化にかかり、ひいては器官の発生、多くの生命現象、癌や遺伝子疾患の発生のメカニズム、肥満や脳機能などにも関与するとされています。

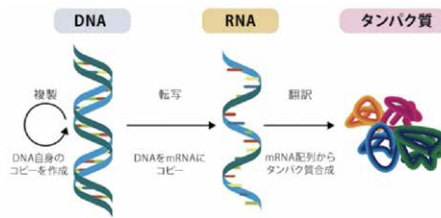


図4 セントラルドグマ:核内にあるDNAがメッセンジャーRNAに転写され、成熟して核外の細胞質に出て蛋白質に翻訳される(ウイキペディアより引用)



図5 エピジェネティクスの分子機構。DNAの塩基配列自体は変化しないが、DNAを構成するシトシンがメチル化修飾を受け、DNAの2本鎖を巻き付けているヒストンがアセチル化修飾を受け、それぞれ遺伝子発現を抑制、活性化する(仲野徹著:エピジェネティクス、岩波新書より引用)。

## 異種芸術のコラボ

本誌No7のこの項で「オペラと能が融合して新しい芸術が生まれる」という例を引用しました。

先日高橋英樹氏と大久保佳代子さん司会のNHKテレビ「芸能きわみ堂」で、「異種格闘コロシウム」と題して、ブレイキン(ブレイクダンス)と長唄のコラボなどをやっていました。実験的な試みでしたがHIRO10(大能寛飛氏)が「勳進帳」に合わせて踊る姿は素晴らしく、特に身体の色んな部分を軸にしてクルクルと回転するパワームーブを地唄に合わせて踊るシーンは圧巻でした。

以前「愛と哀しみのポレロ」という、第二次世界大戦に翻弄された4家族を扱った映画が上映されました。その最後のクライマックスで、バレエ・ダンサーのジョルジュ・ドン(モデル:ルドルフ・ヌレエフ)が、モーリス・ラヴェル作曲の「ポレロ」に合わせて踊るというものでした。指揮者のモデルはヘルベルト・フォン・カラヤンで、このバレエの振り付けは種々の場面で活躍されたモーリス・ベジャール氏で、その他デイト・ピアフ、グレン・ミラーなどがモデルとして登場しています。このような異種芸術がコラボとして試みられるのは新たな世界を広げる意味で重要と思われる。



愛と哀しみのポレロで最後のクライマックスシーンでジョルジュ・ドンが踊った「ポレロ」

## 世界一長い曲「ヴェクサシオン」

まだもう少し余白がありそうで、ページ数をきっちり守らないと大塚編集長に怒られそうなので、蛇足ですが世界一長い曲を紹介します。それは、エリック・サティによる「ヴェクサシオン」というもので、1分程度のモチーフを840回繰り返す曲になります。サティによる楽譜には「あらかじめ心の準備が必要で、最も深い沈黙と真剣な不動性の姿勢によって」と書かれています。初演は1963年ニューヨークで現代の前衛芸術に影響を与えている実験音楽家のジョン・ケージによって行われています。因みに「ヴェクサシオン」には「嫌がらせ」「自尊心を傷つけるもの」という意味があり、ちょうど今職場などで話題になっている「ハラスメント」と同じ範疇の言葉ですが、他人を傷つけるものではなく無さそうでちょっとニュアンスが違うようです。さらに長い曲は先ほどのジョン・ケージの「ASLSP」という、約639年かけて演奏するという狂気じみた曲がありますが、これには触れないことにします。

## Introduction to newcomers

## 新採用者紹介

今年度より新採用となった職員の自己紹介を掲載いたします。

## 医師

消化器内科

日野 真太郎



4月から消化器内科で勤務しております日野真太郎です。

専門の胆膵領域を中心に消化器疾患、内科疾患全般を担当させていただきます。患者さんへのわかりやすい説明を心がけ、診療に努めてまいります。

2010年に順天堂大学を卒業後、倉敷中央病院・姫路医療センター・日本鋼管福山病院と瀬戸内エリアを中心に研鑽を積んで参りました。

福山は生まれ育った地元であり、子供のころからなじみのあるこの地域に、今度は医師としてお役に立てることを大変うれしく思っております。

食べること、お酒を飲むことが好きなのですが、まだ福山の飲食店はあまり開拓できていません。おすすめのお店がありましたら、ぜひ教えてください。

「フットワークの軽さ」を大切に、ご相談やご依頼にはすぐお応えしたいと思っておりますので、些細なことでも気軽にどうぞお声がけください。

どうぞよろしくお願いいたします。

消化器内科

木村 美名子



4月より消化器内科に勤務させていただいております、木村 美名子と申します。

岡山県の川崎医科大学を卒業後、広島市内および母校の関連病院で勤務し、このたびご縁をいただき、当院に赴任いたしました。

出身は広島県呉市です。地元は海や川に面した地域ですが、福山市にもどこか故郷に似た景色があり、居心地の良さを感じております。

私は消化器内科を専攻しており、医師6年目となります。胃カメラ・大腸カメラの診療が好きで、当院でも多くの症例を経験し、診断力や緊急対応の力を磨きながら、自身の強みとしていけるよう、日々診療に携わってまいりたいと考えております。

また、将来的にはIBD(炎症性腸疾患)を中心とした医療に携わりたいと考えております。これまで生物学的製剤を導入した症例に触れる機会が少なく、不慣れな点もございますが、多くの症例を経験しながら学んでまいりたいと思っております。ご指導いただけますと幸いです。

未熟な面も多くございますが、「先生に診てもらって良かった」と言ってもらえるような医師を目指し、患者様に寄り添った医療を心がけて精進してまいります。

何卒よろしくお願いいたします。

消化器内科

中城 健



4月より赴任致しました内科の中城健(なかじょうけん)と申します。

岡山大学を卒業後、香川県立中央病院で初期研修医、専攻医として研鑽を積んで参りました。卒後6年目で、消化器内科を専攻しております。

学生時代はテニス部に所属しており、今でも時折テニスで汗を流しリフレッシュしております。

香川県出身で福山は縁もゆかりもない土地ではありますが、今回ご縁がありこちらで勤務させていただくこととなりました。徐々に福山での生活にも慣れてきたところではありますが、美味しいごはんやなど開拓していけたらなと思っております。是非福山のおすすめの場所などありましたら教えてください。

ご迷惑をおかけすることも多々あるかと思いますが、一日でも早く福山の地域医療に貢献できるよう精進してまいります。何卒ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

消化器内科

宇田 陽紀



この4月から再び当院に赴任致しました、医師5年目の宇田 陽紀(うだ はるき)と申します。専門は消化器内科を専攻しております。出身は福山市で近畿大学を卒業後は、初期研修からの3年間は当院にて研修を行いました。昨年1年間は広島市民病院にて勤務をさせていただき、1年ぶりに生まれ故郷の福山市に戻って参りました。趣味はスポーツ観戦で、最員の球団は広島東洋カープです。今年はドラフト3位入団の、同じ近畿大学出身の勝田成選手に注目しており、ユニフォームを始めとしたグッズの購入も検討しております。

仕事の面では早いもので5年目となりますが、まだまだ至らない点も多くあることかと存じます。これからも地元福山の医療に貢献できますように、持ち前のフットワークを活かして引き続き精進して参りますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

## Introduction to newcomers

皮膚科

藤井 江利子



4月より皮膚科で勤務させていただいております、藤井江利子(ふじい えりこ)と申します。

出身は和歌山県で、香川大学を卒業後、岡山大学病院で初期研修を行い、岡山市市民病院や倉敷成人病センターでの勤務を経て、この度ご縁をいただき当院に赴任いたしました。2018年に卒業し、現在卒後9年目となります。

祖父母の家が笠岡にあることもあり、福山には小さいころから何度か訪れたこともあり、とても良い街だなと感じております。最近では昨年度の世界パラ会議にも足を運ばせていただき、とても美しく、楽しませていただきました。当院の常勤の皮膚科医師は私一人なので、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、他科の先生方もしっかりと連携をとらせていただき、少しでも福山の医療に貢献できるよう、精一杯頑張りたいと思っております。何卒よろしくお願ひ申し上げます。



放射線診断科

西垣 貴美子

4月から放射線診断科で勤務させて頂いております、西垣貴美子(にしがき きみこ)と申します。岡山大学を卒業後、初期研修と後期研修の2年を岡山大学病院で過ごし、その後岡山医療センターとひたすら岡山県で過ごした後に愛媛県に渡り、この度ご縁があって当院で勤務させて頂くことになりました。

出身は兵庫県ですので、ジグザグと異動を繰り返しながら少しずつ出身地から少しずつ離れて行っているような気がしております。ですが出歩く趣味がないので、このような形で様々な地域での経験に恵まれたことに感謝しております。

去年の夏頃の試験で診断専門医を取ったばかりで、未熟故至らぬ所が多いことは自覚しております。少しでも早く皆様と共に福山の医療に貢献できるよう、精進致します。何卒お手柔らかに…ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひします。

放射線診断科

竹本 有里



4月より岡山大学病院から赴任しました放射線診断科の竹本有里と申します。

早いもので専攻医3年目となりましたが、まだまだ読影・放射線治療と勉強させていただく毎日です。先生方の診療のお役に立てるよう日々精進して参ります。

放射線科は院内のローソンが近く、よくローソンに出発しています。当院のローソンはグミの種類が豊富で、グミ好きな私にとっては嬉しい限りです。新種のグミを買っては嬉々として読影・治療計画をしておりますので、おすすめがあれば教えていただけますと幸いです。また、たまに気分転換で医局でカップ麺を啜っておりますので、お気軽に話しかけていただくと嬉しいです。

整形外科

古島 裕次郎



4月より整形外科で勤務させていただいております、古島裕次郎と申します。

当院には初期研修から2025年10月まで3年半勤務しており、その後岡山大学に半年研修し、この度戻ってまいりました。以前からお世話になっている方々には少しでも成長した姿をお見せできたらと考え、日々精進してまいります。当院にはあと1年の勤務ですので、精一杯当院に貢献していきたいと考えております。今後ともご指導・ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

泌尿器科

桐島 史明



4月より泌尿器科で勤務させていただいております、桐島史明と申します。

広島出身で、2019年に広島大学病院を卒業し、広島県内の病院で初期研修、そして泌尿器科医として5年間勤務しておりました。昨年度は泌尿器科専門医を無事合格することができ、またロボット手術の術者認定もようやく取得し、日々研鑽に勤んでおります。

趣味はラーメン巡りとドラクエウォークです。福山近辺には美味しいラーメンが多く、充実した食生活をお送りさせていただいております。またドラクエウォークは微課金結構がチ勢です。ドラクエウォーカーが居ればぜひお声をかけていただければと思います。

福山で働くのは初めてであり、早く地域の医療に貢献できるよう精一杯励んでまいります。至らぬところも多々あるかと思われませんが、どうぞよろしくお願ひいたします。

## Introduction to newcomers

泌尿器科  
松原 佑吾

4月より泌尿器科に勤務しております、松原佑吾と申します。出身は広島市で、香川大学卒業後、マツダ病院、広島大学病院、北部医療センター安佐市民病院にて勤務してまいりました。前任地では、主にロボット支援手術をはじめとしたがん治療に携わってまいりました。

このたびご縁をいただき、福山の地で診療にあたらせていただくこととなりました。福山は祖母の出身地でもあり、親しみを感じております。また、学生時代を過ごした香川県にも近く、折に触れて訪れることを楽しみにしております。趣味はスポーツ観戦で、少し距離はありますが、サンフレッチェ広島や広島東洋カープの試合観戦にも足を運びたいと考えております。

まだ至らぬ点多く、皆さまにはご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、福山の医療に少しでも貢献できるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

小児科  
小林 光郎

このたび、福山医療センター小児科に赴任いたしました小林光郎と申します。

福山は私の本籍地ではありますが、これまで居住した経験はなく、このたびご縁をいただき、ゆかりあるこの地で勤務できることを大変光栄に存じます。

私は高知大学を卒業後、兵庫県内の病院にて初期研修を修了し、その後も同病院にて小児科医としての研鑽を積んでまいりました。岡山大学小児科への入局後は、香川県や愛媛県など四国各地の基幹病院に勤務し、地域に根ざした小児医療の重要性を深く学びました。

これまで培った経験を最大限に生かし、福山の地でもお子様やご家族の皆様へ寄り添い、安心していただける医療を提供できるよう日々精進してまいります。

不慣れな点もあるかと存じますが、地域の皆様のお役に立てるよう誠心誠意努めてまいります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

小児外科  
宇賀 菜緒子

4月より小児外科に赴任いたしました宇賀 菜緒子です。

三重県出身で、2012年に藤田医科大学を卒業後、初期研修は三重県で行いました。2014年からは小児外科医として、藤田医科大学病院、大阪母子医療センター、大阪大学病院で勤務してきました。

中国地方での勤務は今回が初めてです。以前こちらに勤務されていた先生方から「とても良いところだよ」と聞いてまいりました。福山市内の美味しいお店もいくつか教えてもらったので、行くのを楽しみにしています。また、初期研修を行った三重中央医療センターは同じ国立病院機構の病院だったため、機構内の研修会や学会への参加、機構のつながりを通じた病院見学などの経験があり、懐かしく思い出しています。

こちらは地域において数少ない小児外科患者の受け入れ病院であり、身の引き締まる思いです。少しでもお役に立てるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

専攻医  
小西 史哲

4月より赴任いたしました内科専攻医の小西史哲と申します。

出身大学は愛媛大学です。大学卒業後、中学・高校時代を過ごした福山市内のほかの病院で2年間の初期臨床研修を修了し、同院で内科専攻医として引き続き勤務してまいりました。この度ご縁があり内科専攻医プログラムの一環で福山医療センターに赴任いたしました。

休日はドライブに出かけたり食事に行ったりして過ごすことが多いです。おすすめのドライブスポットやお店があればぜひ教えてください。

初期臨床研修から従事している福山市内で引き続き勤務できることを大変嬉しく思っております。福山市をはじめとした備後圏域の医療を支える当院の一員として身の引き締まる思いです。医師として働き始めて以降初めての異動であり、至らぬ点多々あるかと存じますが、一日も早く皆さまのお力になれるよう誠心誠意、診療に努めてまいります。ご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

## Introduction to newcomers

初期研修医

大石 誠明



4月より福山医療センターでお世話になっております、初期研修医1年目の大石誠明と申します。生まれは岡山県笠岡市ですが、人生の大半を広島県福山市で過ごして参りました。高校は修道高校、大学は近畿大学を卒業いたしました。高校では陸上部、大学では華道部とバドミントン部に所属しておりました。

今年の三月に他県出身の大学の友人と福山城、福山自動車時計博物館、みろくの里、鞆の浦などを観光し、昔との変化や新たな発見もあり改めて福山市の魅力を感じることができました。

慣れ親しんだ故郷である福山市で医師としての第一歩を踏み出せることを大変嬉しく思っております。

まだまだ未熟者ですが、一日も早く成長できるよう邁進して参ります。ご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

初期研修医

岡野 航大



今年度より当院で初期研修医として勤務させていただきます、岡野航大と申します。私は幼少期より当院の小児科に患者として10年程通院しておりました。私が小児科医を志したきっかけでもあり、長い期間慣れ親しんだ福山医療センターで医師のキャリアとして重要な2年間である初期研修医の期間を過ごせることをとても光栄に思います。まだ実際に医師として働く中で己の未熟さや医師としての責任の重さを痛感する場面が多く、毎日が学びの日々ではありますが、自分のやるべき業務や目の前の患者さんに真摯に向き合い、少しでも早く医療の現場での戦力になれるよう主体的に学び精進していきたいと存じております。医療の現場で必要とされる知識や技術は勿論、信頼される医師に必要な人間性の面においてもこの二年間で成長できるよう努力します。ご迷惑をお掛けすることも多いかと存じますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

初期研修医

神田 紗苗



4月より初期研修医としてお世話になっております、神田紗苗と申します。

出身は岡山県笠岡市で、高校は広島大学附属福山高校、大学は岡山大学を卒業いたしました。通い慣れた福山市で勤務できることを大変嬉しく思っております。

部活動はバレーボール部に所属しておりました。休日は球技やランニングに加え、スポーツ観戦も楽しみたいと考えております。

まだ至らぬ点ばかりで、ご迷惑をおかけすることも多いかと存じますが、一日でも早くお役に立てるよう精一杯努力してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

初期研修医

楠田 遥香



4月より初期研修医1年目として勤務させていただいております、楠田遥香と申します。転勤の多い家庭で育ち、高知、静岡、鹿児島、岡山など各地で生活して参りました。大学は鳥取大学を卒業いたしました。

福山医療センターの皆様にご温かく迎えていただき、また福山の街の過ごしやすさにも支えられ、新生活をスタートできることを大変嬉しく思っております。

至らぬ点ばかりでご迷惑をおかけすることも多いと存じますが、一日も早く成長し、少しでもお役に立てるよう精一杯努力してまいります。何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

初期研修医

中山 裕太



4月から初期研修医として勤務しております、中山裕太と申します。岐阜県岐阜市出身で、大学は福岡大学を卒業しました。学生時代は、ゴルフと筋トレに熱中しておりました。いつでもお誘いお待ちしております。福山に住むのは初めてで、新たな環境にワクワクしております。

未熟ではありますが、日々の学びを大切に、一つ一つ着実に身につけていきたいと思っています。また、患者さんと多職種の方々とのコミュニケーションを大切に、信頼される医師を目指して努力してまいります。ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

## Introduction to newcomers



初期研修医  
平谷 友佑

4月より初期研修医としてお世話になっております、平谷友佑と申します。出身は尾道市向島で、高校は広島大学附属福山高校、大学は高知大学を卒業し、この春から福山医療センターで働かせていただくこととなりました。高校時代から馴染みのある福山で、社会人としての第一歩を踏み出せることを大変嬉しく思っています。大学ではソフトボール部に所属しており、休日は体を動かしたり、スポーツを観たりして過ごしています。機会があれば、カーブの試合も観に行きたいと思っています。まだわからないことやできないことばかりで、ご迷惑をおかけする場面も多いかと思いますが、一つひとつ学びながら、少しでも早く現場のお役に立てるよう努めてまいります。

ご指導のほど、どうぞよろしくお願いたします。



初期研修医  
福田 青空

4月から初期研修医として働いております、福田青空です。山口県出身、福岡大学卒業です。

福山にはこの度初めて来ましたが、とても過ごしやすく、これからの生活も楽しみです。

最近ではゴルフの特訓中です。また、パン、ケーキ、ご飯などお気に入りお店など見つけて行きたいです。おすすめがございましたらぜひ教えてください。

まだ未熟者ではございますが精一杯頑張ります。何卒よろしくお願いいたします。



初期研修医  
山下 優太郎

4月より初期研修医としてお世話になっております、山下優太郎と申します。長崎県で生まれ、島根大学を卒業しました。ラグビー部、空手道部に所属しておりました。

最近では福山医療センターの山Pと呼ばれてきております。公式になれるように精進いたします。

この2年間で福山市の美味しい居酒屋をできるだけ開拓して、多くの方々と交流を深めたいと思っております。ぜひお声がけいただけると嬉しいです。

日々様々なことに挑戦しながら成長して行きたいと思っております。未熟者ではございますが、ご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願いいたします。

## 連載 No.143 事務部だより

## 『水族館』

企画課  
契約係長  
川上 理菜



私は水族館が好きです。特に大水槽を眺めている時間がたまりません。水槽の前に座り、魚たちが泳ぐ様子を見ていると、自分が海底にいるような気分になり息苦しくなる感覚が楽しいからです。気がつくと、いつも10分ほど見入ってしまいます。

そんな私が先日訪れたのは、島根県浜田市にあるアクアスです。幼い頃に見た、スナメリがバブルリングを出すCMをふと思い出し、無性に見に行きたくなりました。残念ながら入館した時間がショー終了直後で、バブルリングを見ることはできませんでしたが、大水槽を悠々と泳ぐ魚たちや、気持ちよさそうに眠るアザラシ、なぜか回収され始める水槽のクラゲなどを見ることができ、とても楽しい時間を過ごせました。

水族館のアザラシに生まれ変わりたいと思った一日でした。



世界の病院から 連載151  
Hospitals around the world

病院見聞記・台湾編 No.79

国立臺灣大學醫學院と附設醫院(2)

National Taiwan University College of Medicine & National Taiwan University Hospital (2)

国立臺灣大學醫學院(=医学部)

National Taiwan University College of Medicine

前回から臺大醫學院と臺大醫院の見学が始まった。今回は国立臺灣大學の醫學院(=医学部)を見学したい。

■台湾が目指す医師像



写真1: ルーク・フィルズの「The Doctor」(ロンドンのテート美術館所蔵版)。大きさは約1.6m x 2.4m。

写真1は英国のルーク・フィルズ画伯が1891年に描いた「The Doctor」。この名画、およびその背景のストーリーについて、英米の医師では知らぬ者は少ない。

絵が描く風景はスコットランドの山林労働者(樵)の質素な部屋。豪華な家具はなく、病気の女兒は不揃いの2つの椅子を並べた急造のベッドに寝かされている。母親はヴィクトリア女王のもと侍女。女王から診察を委ねられ、ロンドンから駆け付けたクラーク侍医が、一晩寄り添った重篤の女兒を見守っている。嘆き悲しみ疲れ切った母親は、テーブルにひれ伏し手を組んで娘の快癒を神に祈る。父親は妻の肩にいたわりの手を差し伸べて、茫然と立ち尽くしている。画面の色調は大変暗い。この絵の感想は、日本人には「陰鬱」であろう。クラーク侍医の懸命の努力の甲斐あって女兒は快方に向かったと女王に報告され、医師の献身的な診察に心打たれた女王はフィルズ画伯に描画を依頼した。絵画では窓から差し込んだ夜明けの光が子供の顔にあたっており、病状が「峠」を越える局面が描かれている。

ルーク・フィルズ自身の長男フィリップが1877年に腸チフスにて1歳で亡くなった際、懸命に治療にあたった医師(グスタフ・マレー博士)への深い感銘と敬意がモチーフとなっていると伝わる。医師が背隊位の患者の診察するとき、通常は患者の右側に位置する。事前にルーク・フィルズが描いたスケッチの中には医師が右側に位置する構図もあった。しかし1891年のテート美術館に納入した作品での医師の位置は左側になっている。なぜ左側なのか、というミステリーが残る。

この絵を観た欧米人は「ヒポクラテスの誓い(The Hippocratic Oath)」を想起するようで、絵は人命の貴さ、医師の仕事・社会的使命・義務を考えさせる。絵画「The Doctor」は英国のNHS(National Health Service)の設立(1948年)に大きな影響を与えたとと言われる。NHSは税を財源にして、支払能力に関わらず国民全員にすべからず医療提供を行うべきという理念で設計した医療制度であった。「The Doctor」は当時の欧米が考える理想の医師の姿とされ、米国では多くの診療所の壁に複製画が飾られ、米国医師会(AMA)創立100周年記念切手(1947年)の図案にも選ばれている。



写真2: 国立臺灣大學醫學人文博物館(旧・醫學院)の玄関ホール。歴代の校長の胸像が並ぶ。「醫師之像」が一番奥(階段のホール)に置かれていた。



写真3、4: 邱文雄制作の「醫師之像」。瀕死の少女の容態を診ながら次の治療を熟考している。

ルーク・フィルズの絵画を下絵にして、臺北帝國大學附属醫學專門部第11期の邱文雄医師がブロンズ像「醫師之像」を制作し、自身の卒業20周年目の1969年に国立臺灣大學に寄贈した(写真3,4)。当初はキャンパスに設置されていたようだが現在は国立臺灣大學醫學人文博物館の1階階段ホールにある(写真2)。遠近法採用でより立体的に見せる技法が巧みである。(レオナルド・ダ・ヴィンチやミケランジェロと同じく)解剖学の知識は人体彫刻において大きく寄与したであろう。この像での台湾の医師は(ルーク・フィルズの医師とは違い)半袖で、聴診器を首に掛けて患者を前に熟考している。医師のイメージは白衣と聴診器(+額帯鏡)である。日本では聴診法の診察を行う医師は、呼吸器内科・外科でも少なくなった、と、患者としては思う。診察室での医師は、モニターに映しだされた検査の数値や画像を読んでいる姿である。それで良いのだが、診察の順番が来るのを長時間待った患者としては、なにか物足りなく、満たされない。

2005年に彫刻家の浦浩明が邱文雄医師制作の



写真5: 浦浩明作成の「醫師之像」。臺大醫學院が志す医師の姿。背景は国立臺灣大學醫學人文博物館の庭と屋根。

順天堂大学  
健康データサイエンス学部  
非常勤講師(医療経営論)

福永 肇

Hajime Fukunaga



「醫師之像」(写真3,4)を基にしてより大きなサイズでの複製を作成(写真5)。私はこの像を2018年の臺大醫院東址の前庭で見つけた(このエリアはその後、工事前フェンスに包围され、長年閉鎖地域になっている)。彫像とは孫文と蒋介石ばかりであった戦後の台湾において(蒋介石像は4万5千基ほどあった)、21世紀のキャンパスに登場したこの「醫師之像」を目にした医学生たちは「新鮮に感じた」という。この塑像は、台湾が、そして世界が理想とする医師の姿であろう。

■臺大醫學院(国立台湾大学医学部)

臺大醫學院を見て行きたい。台湾で最も長い歴史を誇る医学学校である(淵源は1897年)。



写真6: 基礎醫學大樓(醫學院大樓)。大樓=ビルディング。

写真6は医学部の校舎・研究室のビルディング。地上15階、地下3階建て。12階と13階には薬学部の一部も入居している。国旗(晴天白日旗)が掲揚されている。大王椰子の街路樹が南国の風景を醸し出している(写真真来源:Wikipedia)。「椰子並木つづくその下みな小人」という台湾人(楊慧珠)の俳句がある。



写真7: 臺大醫學院の校門。なぜか門扉がない。右奥の黄土色の校舎が醫學院の玄関。現在の台湾の全ての校門の中で、この門が一番狭い。門柱は戦前からの門(参考:写真8)。樹木は臺大醫學院のシンボルツリーである楓(フウ)の木。



写真8: 戦前の「醫學校」の校門。門扉は付いている。ここから多くの西洋医が巣立っていった(写真真来源:国立臺灣大學醫學人文博物館の展示写真より)。



写真9:医学部の看板。右から左への伝統的な右横書き。

写真9は医学部の看板。東アジアでは、台湾(臺大)、朝鮮(ソウル大)、日本(東大)など、医学部が大学を代表する学部になっている。しかし世界では、それが法学部や神学部である国も多い。これらの東アジアの国は日本の明治政府の影響で、西洋医学を尊んだ。明治政府は「殖産興業」と「富国強兵」に励み、医学・医療は「強兵」の任務を担った。



写真10:醫學院の玄関。モダンなビル(したがって殺風景)。隣にある旧・醫學院の荘重な玄関と対照的である。医学部の玄関に「AED設置場所」の誘導表示があるのが、なぜか可笑しい。



写真11:臺大醫學院の吹き抜けの玄関ホールと内庭。ガラス窓に大学のマークが見える。



写真12:臺灣大學醫學院の院徽(標章)。長い議論の末、2001年に決定。黃伯超醫學院院長(=医学部長)によるデザイン。

写真12は醫學院の院徽(標章)である(すなわち医学部のエンブレム)。中央の鐘は、校舎玄関ホールに実物が置かれてあった。ここで話が逸れる。台湾の大学は「鐘」が好きなので、校鐘を大切にしている伝統校も多い。國立臺灣大學でも醫學院とは別の場所(公館)にある大学のメインキャンパスにも、シンボルとしての「校鐘」の塔があり、定時には鐘が鳴る。日本でも早稲田大学大隈記念講堂の鐘楼の鐘(米国ボルティモアのマクレン社製)は1日6回、ロンドンウエストミンスター寺院と同じハーモニーを大小4つの鐘で奏でている。学校の鐘は、もともとは授業の開始と終了を告げる振り鐘(ハンドベル)で、学校独特の文化であった。日本でも戦後に振り鐘が授業開始・終了の合図として導入され、始業時間・終業時間が来ると用務員さんが振り鐘を鳴らしながら廊下を巡回していた。筆者はその昭和の音

を覚えている。やがて校内放送でのチャイム音に換わっていき、現在ではノーチャイムの学校も多い(教員は不便)。なお日本の鐘は外部から撞木で撞くが、西洋の鐘は内部にぶら下げた分銅(舌・ぜつ)を振動させて音を出すので(すなわち西洋の鐘=鈴)響き方が違う。

院徽(標章)右側のヘビは医神アスクレピオスの蛇杖のヘビで、臺大醫學院ではなぜか白蛇。20世紀前半、ヘビ毒研究は医学(薬理学)の重要テーマであった。1900年に渡米した野口英世がペンシルベニア大学医学部から与えられた研究課題はヘビ毒で、野口は成果を論文にまとめ、研究者への第一歩を踏み出している。臺大醫學院はヘビ毒研究における世界的権威になっていく。台湾島には百歩蛇(ヒヤッポダ)という猛毒蛇がおり、噛まれたら百歩歩まない内に死ぬという。なんとも恐ろしい。

院徽(標章)の左の三つ葉は、ヒポクラテスのプラタナス(鈴懸の木)の葉ではなく、楓(フウ)の木の葉っぱ(台湾の楓の木は日本のカエデの木とは違う)。銀杏が東京大学や大阪大学のロゴであるように、楓は臺大醫學院のシンボルになっている(楓の木については写真7も参照)。さてこの標章の「1897年」という年号に目線を留めてほしい。1897年は臺北病院内に台湾人の子弟を対象にした「醫學講習所」が開設された年である。ここから台湾での医学教育が始まった。臺大醫學院はこの醫學講習所を始祖に据えている。

日本敗戦後、(日本の)臺北帝國大學醫學部は閉校になる。(中華民國の)國立臺灣大學の創設は1945年であるが、醫學院の創立年は1897年とし、「醫學校」・「臺北帝國大學醫學部」の伝統を継承した。直系専属の考え方である。朝鮮では台湾とは違った。「ソウル大学校医学部」は1946年に開学した国立大学であり、校舎、図書館、附属病院、大学組織は戦前の「京城帝國大學醫學部(1924年開学)」の校舎や施設、大学組織等を活用するが、自分たちは直系専属ではなく、血のつながりはない全く新しい大学の新しい医学部であるとしている。社会には様々な歴史解釈がある。またあってよい。



写真13:医学部玄関ホールの臓器提供者を顕彰するプレート。

写真13のプレートは「無語良師」、「無我之愛」の用語が掲げられている。「無語良師(Silent Mentor)」とは献体者を指す。毎年追悼式典が行われ、医学部や関連病院の教職員・学生や臓器提供者の家族・友人が参列している。台湾と韓国の大学病院では玄関ホールに臓器ドナー顕彰プレートが掲げられている。日本の病院でも臓器ドナー顕彰プレートを見かけることはある。しかし寄附者顕彰プレートの方が圧倒的に多い。



写真14:大学の基礎医学棟(Basic Medical Sciences Building)。低層階には教室、上層階には研究室が配置されている。円形小劇場(円形ホール)が見える。



写真15:成績優秀者プレート(医学部1階の通路の壁)。



写真16:各年の医学部成績優秀者(医学部1階の通路の壁)。

写真15、16は醫學院の成績優秀者の掲示版。台湾では、学校の成績優秀学生や勤務優秀職員を表彰して、その氏名や写真を校内や病院内に掲示するという文化があるようだ。高級中学校(=台湾の高校)の扉には、前年度の進学先大学名と卒業生の名前を記載した幕が張り出されている(日本の中学・高校で、運動選手の大会出場を顕彰する立看板に似ている)。日本では予備校にこの光景がある。私が以前に勤めていた愛知の医科大学では、大学病院のバス停前に設置した掲示板に学生の成績順位や留年者名を掲示していたという(現在は廃止)。台湾や韓国は激しい勉強競争社会で有名である。2024年の一人当たり名目GDP(IMF統計)は韓国36,239米ドル(世界第34位)、台湾34,060米ドル(同38位)、日本32,443米ドル(同40位)。この指標は1年間の国民の働き具合、がんばり具合の代理数値でもある。日本は停滞している間に韓国、台湾に追いつかれ、追い抜かれ、さらに引き離されつつある。日本は、何をどうすれば良いのだろうか。



写真17:医学部校舎6階研究室棟。(解剖学と細胞生物学)での教員は、教授、副教授、助理教授、(退休教授)に分かれるようだ。



写真18:医学部校舎6階研究室棟の廊下。

写真17、18は医学部の教員研究室棟6階の風景。大学の研究室は世界どこでも同じような造りであった。医学院の校舎の中には「醫學圖書館」があり、機会がある都度、立ち寄った。次回紹介する。

この調査レポートは「JSPS科研費23K00259」の助成研究に付随する報告である。

訂正:FMC NEWS 2026年4月号の[世界の病院から連載150]での写真1は國立臺灣大學醫學院附設醫院(西址)のみの画像ではなく、附設醫院全体の鳥瞰写真でした。

# Touring Journey



経営企画係  
中島 正勝

## 原付で楽しむ近場ツーリングの話

大型バイクは楽で楽しいけど、それは中長距離を走った場合だろう。近場(片道100Km程度)ツーリングなら圧倒的に小型(原付)バイクが楽しいと思っている。何より駐める場所に困らない、細い道での方向転換も楽々、燃費や維持費等がお財布に優しい。難点があるとすればバイパスが通行出来ない、二人乗りしたときのパワー不足等だが、利点に比べれば些末な問題だろう。って事で、今回はその原付ツーリングの話だよ。

### 1. しまなみ海道原付ツーリング

暖かくなり始めた四月後半、職場の同僚を誘い、サイクリストの世界的聖地である「しまなみ街道」に原付ツーリングに行ってきた(自転車は無理)。目的地は鳴門海峡、関門海峡と並ぶ「日本三大急潮流」として名高い来島海峡のト真ん中に浮かぶ「馬島(うましま)」だ。

#### 1) 待ち合わせ、フェリー、休憩

今回の相棒は職場のMさんなので自宅集合をお願いした。目的地や休憩場所等は伝えたがコースは知らせていない。選択できるコースが殆ど無いってのもあるが、多分知らないであろうコースを紹介するのが目的だからだ(汗)。福山から、しまなみ海道最初の島(向島)へ渡るには、国道2号線から尾道大橋を利用するのが一般的だ。まあ、尾道駅裏の渡船(フェリー)利用もあるが若干遠回りになってしまう。マサカツくんの場合(自宅から)だと、裏道(県道)経由で福山の端っこ(実は尾道市)の戸崎港に向かい、そこからフェリー利用で向島(歌港)に渡るルートをよく利用している。時間的にも速いし混まないからだ。Mさんはこのルートを絶対に知らないと思うので、港に着くまではナイショで先導して反応を楽しんだ(想像どおりだったよ)。

途中、「はっさく工房 まつうら」でイチゴ大福を購入(休憩時のおや



しまなみコーヒー



待ち合わせ、フェリー、休憩

つ)。ついでに、近くの因島南料金所(事務所)に寄って「原付利用者回数券」を購入した。回数券だと小銭を持ち歩く必要が無くなるのもあるけど、これが大変お得な回数券なんだよね。しまなみ海道を複数回利用するなら絶対に購入すべき裏アイテムだ。勿論、彼にも勧めたよ。

その後、大三島の「しまなみコーヒー」で珈琲タイム。多々羅大橋が目に見える小高い場所にあり、素晴らしい眺めの場所なのだ(ワンドリンク制)。なお、無料で展望を楽しみたいなら、この上にある多々羅展望台がお勧めだぞ。



昼食は「ピットイン」

#### 2) 昼食は「ピットイン」で

ピットインと聞いて、週刊少年チャンピオンに昔連載されていた「750(カハ)ライダー」を想像したのであれば、自分と同じ世代だろう。此処はその名のとおり元ライダー夫妻がやっているお店だ。出川哲朗の充電させてもらえませんか?に出たことや、何度も前を通っていたから気になったが、平日は本業(農家)をしていて土日祝だけの営業だし、営業日は何時も満席なので中々利用することが出来なかったんだけど、今回は「予約」って方法を思いついたんだよ。いやさ、席も少ないので予約なんて出来ないだろうなあってダメ元で電話したら、『営業開始(11時)に併せて頂ければOK』って返事だったんだよね。

ランチは種類のみで価格は千円ポッキリ。ボリュームもちょうど良いし、味も雰囲気も文句なし。Googleの口コミ評価4.7なのも頷けた。何より夫妻の会話が面白い。聞けば、元関西人とのこと。旦那さんは腰を悪くしバイクを降りたらしいけど、奥さんは「未だ乗れる筈なんだけどねぇ」って言ってた。営業開始の少し前に付いたけど、少しすると店内も外の席も満席になり、順番待ちが発生してたよ。

### 3) 目的地、馬島(うましま)

海峡の中間に位置する周囲3.7kmの小島で、江戸時代には馬の放牧が行われており、それが島名の由来になったんだとか。周囲は激しい潮流が流れる有名な来島海峡で、島の南側に現れる「八幡渦」と呼ばれる渦潮は圧巻の迫力が見れる筈だったんだけど、着いた時間が満潮の潮止まりだったので、残念ながらお目にかかれなかった。噂によると、運が良ければ目の前の海峡で「潜水艦」が海面に浮上する場面に出くわす事が出来るマル秘スポットなんだって(ホントかなあ)。

なお、この島は住民とホテル宿泊者以外の車両は(原則)進入禁止だけど、原付、自転車、歩行者はエレベーターで自由に島に降り立つことが可能なんだ。まあ、観光すると云っても海(渦潮と岩場)と神社(灯台)くらいなので、30分もいれば飽きてしまうんだけどね。でもさ、引き潮時には広い砂浜が出現して簡単に海蝕洞門にも行けるし、満潮時には岩を渡って洞門にアクセスするプチ冒険ツアーも楽しいけど自己責任でね。

### 馬島(うましま)

頭上には来島海峡第三大橋



来島海峡大橋から  
エレベーターで上陸



冒険の始まり



目的地、馬島(うましま)

## 2. 近場ツーリングにお勧めのランチスポット

### 1) Kitchen Natty(キッチン ナッティ)

鞆の浦のすぐそば、小室浜の静かな海辺にあるピザ屋さん。『創業15年、本格石窯ピザ専門店。イタリア料理店で修行した店主が、400℃の薪窯を使って90秒で焼き上げる本場ナポリスタイルのピザ。瀬戸内海を眺めながら此処でしか味わえない時間を』との紹介に嘘はない。ただ、県道からの連絡道が狭いのが難点かな。あと、野郎同士だと完全に浮いちゃうので念のため。あっそうそう、これからの季節は平日でも混むので予約した方が良いでしょう。それと、種類が沢山あるのでハーフを頼めばお得に色々な味を楽しめる。二人で四種類頼めば量的にも味的にも満足出来るだろう。自分は定番の「マルゲリータ」と「瀬戸内ジェノベーゼ」の組み合わせが一番好きだ。

### 2) ドライブイン灘

呉市安浦町の国道185号沿いにある老舗ドライブイン。開店前から行列が出来るほどの人気店だけど予約可能なので、到着時間が調整できるなら絶対に予約すべし。しかも、席を指定できるから勞せずして瀬戸内の多島美を望むオーシャンビューで食事を楽しめるのもポイントだ。なお、此処は店柄的に野郎同士でも浮くことが無いので俺ら



Kitchen Natty (キッチン ナッティ)

オヤジ達にも安心なのだ。えっ、気にするのはお前だけ?、「ら」を付けるな!!だって。イヤイヤ、昭和じゃ無いんだから、プライベートも仕事も空気読めないとかダメだぞ俺らは。ところで、此処はメニューが豊富というか節操がないというか和洋中華で色々楽しめる。その意味でも、オヤジ(ランチ)ツーリングにも優しい店なのだ(ry)。

忘れてたけど、春先には安浦の春の風物詩である「シロウオの踊り食い」がメニューに上がる。醤油に生卵を落とした玉子醤油に浸けて食べるんだけど、シロウオを入れると跳ね回るので間髪入れず口に運ばなければならないのが楽しくて美味しい。なお、踊り食いが苦手な方のため、卵とじや天ぷらもある。マサカツくんは、期間中2回も「シロウオの踊り食い」を食べに訪れましたとさ。

### ドライブイン灘 (呉市安浦町三津口6-9-8)



最高の眺め



ドライブイン灘

# Design #112

## 「伝わるデザイン」

### III MOURI DESIGN

毛利 祐規 / グラフィックデザイナー

【Profile】大阪、東京のデザイン会社勤務を経て、2011年に独立。福山市を拠点に、全国の企業やお店、ブランド等のロゴマーク制作と、それに伴うブランディングやブランド戦略、プロモーション等を専門に手がけています。



みなさまこんにちは。グラフィックデザイナーの毛利と申します。私は福山市を拠点に、全国の様々な分野のデザインを手がけさせていただいています。そんな中でも最も多く手がけているのは、企業やお店、ブランドなどの立ち上げやロゴマーク制作からたずさわるような「ブランディングデザイン」です。私が手がけた仕事等を通じて、デザインやブランディング、ブランド戦略、プロモーションの大切さや効果などをお伝えしていきます。



### ■ ユニフォームでブランド力UP

今回ご紹介させていただくのは、福岡県で累計 80000 台の入庫実績を誇る、地域で一番選ばれている車の整備会社「エフ・テック」さんのスタッフユニフォームブランディングです。

スタッフユニフォームは単なる作業着ではなく、企業や店舗の理念や世界観を日常的に伝え続ける「動くブランド媒体」です。ユニフォームはあらゆる場面で顧客の目に触れ、繰り返しブランドイメージを印象づけます。色やデザインを統一することで、安心感や清潔感、信頼性を視覚的に伝えることができます。特に中小企業や地域店では、高額な広告をうち続けるよりも、統一感のあるユニフォームの方が強く記憶に残る場合が少なくありません。低コストで導入でき、SNSや写真にも自然に写り込むため、費用対効果が非常に高いブランディング施策です。私はこれまでかなりの数のユニフォームデザインを手掛けてきて、ユニフォームが一番ブランド戦略に効くと言っていきたいだと実感しています。



J.S.A. ソムリエ

日本酒のソムリエ 唎酒師 SSI 認定 国際唎酒師

No.59

# SAKE Freak

## 【酒蔵と私と、ときどきフォークリフト】

皆さま、こんにちは。国際唎酒師・ソムリエの宮岡です。写真の整理をしていたところ、少し懐かしい蔵人時代の写真が出てきました。せっかくなので、酒蔵時代のお話をさせていただきます。

振り返れば、もう10年ほど前のこと。唎酒師の資格を取得したものの、知識ばかりが増え、どこか頭でかちになっている自分に嫌気が差していた頃でした。そんな時、東城の酒蔵の蔵元(会社という社長)が、偶然働いていたお店にいらっしゃいました。そこから驚くほど話がとんとん拍子に進み、次の酒造りの期間中にお手伝いをさせていただけることになったのです。当時はまだ女性の蔵人が多くはなく、広島や福山の日本酒界隈では「東城の酒蔵に女性の蔵人が入ったらいい」と、ちょっとした話題にもなっていました。

生活はというと、木曜から土曜日は福山に戻って飲食店で働き、日曜から木曜日は東城へ通う日々。休みはありませんでしたが、それ以上に好奇心が勝り、酒造り中の3~4ヶ月間はとても充実した時間でした。

酒蔵での主な仕事は、洗米、蒸米、麴造りの補助、発酵中の醪(もろみ)への權入れ、日本酒の搾り、酒粕の処理、清掃・洗浄、そして分析など多岐にわたります。最初は「女性だから洗いが中心になると思う」と蔵元に言われていましたが、気づけば酒造りのほとんどの工程に携わらせていただくことになりました。

朝7時半に酒米を蒸すことから一日が始まり、麴造り、權入れ、酒粕の処理を経て、午後は洗米や日本酒の搾り、清掃・洗浄へ。陽が沈んだ頃、今度は醪の状態を



SSI認定国際唎酒師 J.S.A.ソムリエ

宮岡 瞳

を確認するための分析が始まります。18時、さすがにへとへと…かと思いきや、夜型人間の強みでしょうか、「まだやれる」ともうひと踏ん張りできる自分がいました。

さらに、フォークリフトの運転にも挑戦。…とはいえ、私の腕前は「上達が先か、蔵が壊れるのが先か」と冗談を言われるほどで、結果的に壁をポロポロにしていまいながら、酒蔵での日々を終えました。



權入れ中



蔵元が頑張っているのを、眺めるだけの私。

写真を眺めていると、酒蔵で働いていた日々が、まるで夢だったかのように感じられます。…とはいえ壁のことを思い出すと、ちゃんと現実。ゴールデンウィーク明けに壁の傷を見に行ってみようかな。

# 広報委員会だより

• 経営企画係長 小林

インスタ  
を添えて

いつもInstagramをご覧いただき、ありがとうございます。

この4月より「広報委員だより」の1ページを担当することになりました。

これまで担当されていた前任の方が丁寧に積み上げてこられたページを引き継ぐ形となり、身が引き締まる思いです。

私自身、広報委員としてはまだまだ学ぶことばかりですが、読んでくださる皆さまにとって、少しでも身近で楽しめるページになるよう努めてまいります。

今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

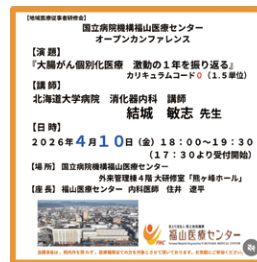
## ♡ 令和8年4月の注目投稿!

当院では、新たに仲間となった看護師が安心して現場に立てるよう、基礎から実践までを段階的に学ぶ新人看護師研修を行っています。感染対策や医療機器の扱い、看護技術など、日々の業務に欠かせない内容を1週間かけて習得しました。

研修では先輩看護師が丁寧に指導し、疑問点をその場で確認しながら理解を深める姿が見られました。これから患者さんに寄り添う看護を実践できるよう、一人ひとりの成長をしっかり支えていきます。

4月の  
投稿一覧

## 新人看護師研修 を行いました!



## Instagram始めました!

病院紹介、採用情報を掲載しています。  
是非ご覧ください。



nho\_fukuyama

イネ (いね)

卷10-2244



「歌の大意」(万葉集私注 土屋文明 著)

住吉の岸を田にはり蒔きし稲の  
しか刈るまでに會はぬ君かも

住吉の崖地を田に開いて、蒔いた稲の、  
蒔いてそれからして、刈るまでも、會はない  
君であるかな。

万葉植物考

万葉表記:「いね」稲 該当する植物、伊称、稲はイネ科イネ属  
イネは万葉集では稲、早稲(わせ)、穂(ほ)、苗(ねえ)斎種(ゆたね)、田(た)などと、多くの言葉で詠まれています。  
稲の祖先はゲノム分析によって、オリザ・ペランニスのアジア型を祖先としてインドで発生したと考えられています。  
重要穀物であることから五十八首の歌に登場しています。田に斎種(ゆたね)をまくと、成長して稲となりやがて  
穂となることからすべてを入れておく必要があるためです。これを分類すると田が四十九首に登場し、斎種(蒔く  
を含む)が四首、稲が九首、穂が十四首などあわせて八十六首となります。稲の花は二百十日頃に、いわゆるモミ  
ガラを開いておしべ、めしべだけの目立たない白い小花が咲きます。奈良時代から(うるち)、精米(もちごめ)  
などの品種があり、平安時代には早稲、中生(なかて)、晩稲(おくて)などの品種が多数作られています。赤米  
(あかごめ)なども古くから作られていて、赤米(しゃくまい、あかよね)などと呼ばれていました。なお、陸稲(おか  
ほ)が出現したのは、鎌倉時代中期です。万葉時代の達人が食べていたのは外果皮と中果皮の一部がとれた  
三分づきのお米です。

中国語で稲は dào, 稻子 dào zi と言います。米の成分の75%以上を占める炭水化物の大部分が糖質です。  
タンパク質、ビタミンB1,B2,Eも含まれています。糖質を体内エネルギーに変えるにはビタミンB1が不可欠なので  
ビタミンB1は主に胚芽部にあるため、そこを除いてしまう白米食では摂取量が不足するのであまり玄米を  
精米せず、胚芽の部分を含めて食べる事も重要です。B1の不足をビタミンB群の多い豆腐や納豆で補えば  
理想的です。

この良質タンパク質は血管をしなやかにし、血は圧を下げ、水溶性の植物繊維は腸の胆汁酸(コレステロール  
の一種)を体外に排出し、ビタミンEが動脈硬化を予防します。

2244. To the Rice-field:  
I haven't seen my dear  
As long as if I had made  
A field on the back  
Of the Suminoe River,  
Sown and cropped rice out of it.

あはれなるのきりしあはれなるの  
あはれなるのきりしあはれなるの  
あはれなるのきりしあはれなるの  
あはれなるのきりしあはれなるの  
あはれなるのきりしあはれなるの  
あはれなるのきりしあはれなるの  
あはれなるのきりしあはれなるの  
あはれなるのきりしあはれなるの  
あはれなるのきりしあはれなるの  
あはれなるのきりしあはれなるの

住吉之 岸乎田爾墾 蒔稻乃 而及苻 不相公鴨

作者不詳



# 一枚の絵 NO.161

## yukimitsu sanayasu の ぶらり旅日記



さな やす ゆきみつ  
真安 幸光氏

### 四万十川 沈下橋

四万十川の水は驚くほど澄んでいて、橋の上からのぞくと川底の石やゆらぐ水草がはっきり見え、風が吹くと水面がきらきら揺れて、それだけでずっと見ていられるほど穏やかです。  
そして沈下橋。欄干がなく視界が完全に開けていて、川と空と山がひと続きに感じられます。少し怖さもあるけれど、その分「自然の中にそのまま立っている」ような感じでした。橋の上で立ち止まっていると、音はほとんどなくて、聞こえるのは水の流れと鳥の声くらいで、「特別な何かがある」というより、何もないと自分が賢い”だと感じる場所でした。

# FMC NEWS

## VOL.19 2026

### MAY

### 編集後記

先日、FM放送で歌手、シンガーソングライター、俳優の福山雅治さんがパーソナリティーをつとめる『福のラジオ』という番組を聞いた。その中で写真家・操上さんが話題となった。操上さんは『写真を撮る前に、そこに何があるのか全てを見つめ、頭に入れてから、初めてファインダーを覗く』と話している、と。私の写真とは？といえば『とにかくたくさんとってその中で少しでも良いものがあれば…』、という姿勢であり真逆である。操上さんに興味を持ち、調べてみた。

写真家・操上和美(くりがみかずみ)さんは、インタビューの中で『被写体と対峙するときは、いつも怖い』と語っている。対象を前に立ち尽くし、安易にシャッターを切らない。その緊張感こそが写真を成立させるのだ、と。また、独立のきっかけとなった有名なエピソードがある。師匠の撮影後、誰もいなくなったスタジオで、一本のコカ・コーラのボトルを前に、三日三晩向き合い、自分なりの光を探し続けた、という話だ。対象は単純でも、向き合い方は決して単純ではない。

私はこの言葉、姿勢を聞き知り、なぜか日常の診察室の風景を思い浮かべた。医療の現場でもまた、患者と向き合う瞬間には、本来同じ種類の緊張があってしかるべきなのだと思う。向き合い方は決して単純ではない。症状が典型的であっても、その人の背景や不安まで含めて見ようとすれば、簡単な診察など存在しなくなる。

写真は完成したプリントだけを見れば、一瞬で生まれたもののように見える。しかしその背後には、対象と向き合い続けた長い時間がある。医療もまた同様と思う。診断や治療の結果以上に、『どのように向き合ったか』が、医療者自身の姿として患者に伝わる。シャッターを切る前に立ち止まる写真家のように、気持ちもあらたに目の前の人ときちんと向き合う診察を忘れずにいたい。

診療部長 荒木 徹

## ひまわりサロンミニレクチャー

2026年6月9日(火) 15時から16時頃まで	「日々の運動」 ～がんの治療中、何から始める?～	理学療法士 作業療法士	福山医療センター 4階小研修室1,2
2026年10月20日(火) 15時から16時頃まで	口腔ケアでがん治療はグッと楽になる ～口腔ケアのポイントお伝えします～	歯科衛生士	福山医療センター 4階小研修室1,2
2027年2月9日(火) 15時から16時頃まで	未定	広島県がん ピアサポーター	福山医療センター 4階小研修室1,2

※令和8年度ひまわりサロンは感染防止に十分注意して対面で開催いたします。  
※費用:無料 ※予約:不要 ※どなたでも気軽にご参加下さい。

## 音楽カフェ



『スプリングコンサート』の様子を院内放送の12チャンネルで放送中です。「春が来た」「さくらさくら」「森へ行きましょう」「おぼる月夜」など誰もが知る春の童謡を、内科・村上敬子先生をはじめとする当院の職員とOGが演奏します。ハンドベルとトーンチャイムで奏でるおだやかな春の音色をぜひご鑑賞ください。



■お詫と訂正■ 2026年4月号3ページ「2025年度 特定行為研修修了式を終えて」の本文中に誤りがありました。お詫び申し上げます。  
誤: 山本真由美看護師 → 正: 山本真弓看護師

## お知らせ 研修会・オープンカンファレンス

現在予定はありません。今後、開催日が決まりましたら当院ホームページにて改めてお知らせします。

STAFF	publisher	稲垣 優				
	chief editor	大塚 眞哉	森岡 頼彦			
【部】	臨床研究部	大塚 眞哉	【センター】	がん診療部	友塚 直人	
	救急医療部	徳永 尚之	がん診療支援センター	がん診療部	常光 洋輔	
	がん診療部	三好 和也	医療連携支援センター	がん診療部	荒木 徹	
	教育研修部	豊川 達也	小児医療センター	がん診療部	岩瀬 瑞恵	
	治験管理部	内海 方嗣	新生児センター	がん診療部	豊川 達也	
	医師業務支援部	常光 洋輔	内視鏡センター	がん診療部	岡田 俊明	
	広報部	大塚 眞哉	外来化学療法センター	がん診療部	廣田 稔	
	感染制御部	齊藤 誠司	心臓リハビリテーションセンター	がん診療部	甲斐 信生	
	国際支援部	藤田 勲生	脊椎・人工関節センター	がん診療部	福島 慶	
	ワークライフバランス部	岩瀬 瑞恵	頭頸部腫瘍センター	がん診療部	寺石 文則	
	緩和ケア部	高橋 健司	低侵襲治療センター	がん診療部	齊藤 誠司	
	薬剤部	中野 良	エイズ治療センター	がん診療部	岸 亮太郎	
	看護部	市樂 美千代	画像センター	がん診療部	三好 和也	
	集中治療部	友塚 直人	がんゲノム医療センター			
				【科】	診療放射線科	小林 正直
					臨床検査科	平岡 健吾
					リハビリテーション科	門脇 守男
				【室】	栄養管理室	藤原 朝子
					医療安全管理室	大塚 眞哉
					経営企画室	高田 薫
					がん相談支援室	藤川 直也
					歯科衛生士室	藤田 勲生
					ME室	藤田 勲生
					診療情報管理室	西原 博政
						峯松 佑典
				【医局】		
					医局	稲生 祥子



独立行政法人 国立病院機構

# 福山医療センター



## 基本理念

わたしたちは、国立病院機構の一員として、医の倫理を守り、患者さまの権利と意思を尊重し、患者さまの健康と医療の質の向上のため、たゆまぬ努力を行い、安全でしかも患者さまにとって最善の質の高い医療をめざします。

## 基本方針

1. 患者さまに寄り添い、患者さまを中心とした医療を提供します。
2. チーム医療の実践により効率的で安全な質の高い医療を提供します。
3. 地域医療機関と密に連携し、患者情報の共有による一貫した医療提供体制を構築します。
4. 政策医療の「がん」「成育医療」「骨・運動器」を中心として、地域に最適な医療の提供に貢献します。
5. 健全な経営に努めるとともに、常に明るく活力のある職場作りを心掛けています。
6. 臨床研究を精力的に行い、医学の進歩に貢献するとともに、日々研鑽して臨床教育・研修の充実に努めます。

# 外来診療予定表

令和8年5月1日現在

【受付時間】 平日 8:30~11:00

※眼科は休診中です。

【電話番号】 084-922-0001(代表)

(地域医療連携室) TEL 084-922-9951(直通)

FAX 084-922-2411(直通)

診療科名			月	火	水	木	金	備考
小児医療センター	小児科	午前	坂本 朋子	藤原 倫昌	小林 光郎	北田 邦美	坂本 朋子 小田 慈※1	予約のみ ※1 毎月第3 ※2 毎月第2 ※3 毎月第1・3 ※4 毎月第4
		午前	荒木 徹 藤原 倫昌 北田 邦美	小林 光郎 北田 邦美 山道 奈都子 宮原 大輔 ※4	荒木 徹 藤原 倫昌	荒木 徹 小林 光郎 坂本 朋子 近藤 宏樹 ※2	荒木 徹 北田 邦美	
		午後	荒木 徹 山道 奈都子	藤原 倫昌 宮原 大輔 ※4	荒木 徹 藤原 倫昌	荒木 徹 小林 光郎 近藤 宏樹 ※2 細木 瑞穂 坂本 朋子 藤井 智香子 ※3	藤原 倫昌 北田 邦美	
	摂食外来				綾野 理加	綾野 理加		水(1週)・木(4週)・・・9:30-16:00
	乳児健診							予約制(水・木)
	予防接種・シナジス	シナジス	予防接種					シナジス外来は冬期のみ13:30-14:30 予防接種13:30-14:30
	小児外科・小児泌尿器科	山道 拓 奥坊 斗規子 ※5	窪田 昭男※6 (13:00-15:30)	宇賀 菜緒子	山道 拓 吉田 篤史 ※5 (13:30-16:00)			※5 隔週 ※6 毎月1・・・小児便秘専門外来併診 診察は小児科で行います
新生児センター	新生児科	午前 午後	猪谷 元浩	猪谷 元浩	岩瀬 瑞恵		岩瀬 瑞恵	
産婦人科	産婦人科外来		今福 紀章 藤田 志保	山本 暖	今福 紀章 末森 彩乃	藤田 志保	山本 暖 末森 彩乃	木(10:00-12:00)・・・母乳外来(予約制) 産婦人科外来で行います
泌尿器科	泌尿器科外来	午前	増本 弘史	長谷川 泰久 増本 弘史 桐島 史明 松原 佑吾 石井 康道	長谷川 泰久 増本 弘史 桐島 史明 松原 佑吾 石井 康道	桐島 史明	長谷川 泰久 増本 弘史 桐島 史明 松原 佑吾	長谷川医師・・・金(2・4・5週)終日(1・3週)午後のみ 増本医師・・・金(1・3週)終日(2・4・5週)午後のみ 桐島医師・・・金(1・3週)終日(2・4・5週)午後のみ 松原医師・・・金(2・4・5週)終日(1・3週)午後のみ
		午後		長谷川 泰久 増本 弘史 桐島 史明 松原 佑吾 石井 康道	長谷川 泰久 増本 弘史 桐島 史明 松原 佑吾 石井 康道		長谷川 泰久 増本 弘史 桐島 史明 松原 佑吾 石井 康道	
					ストーマ外来			水・・・ストーマ外来 14:00-
総合内科	総合内科外来	初診	福井 洋介 廣田 稔	豊川 達也	藤田 勲生	稻生 祥子	齋藤 誠司	福井医師・・・月(2・4週) 廣田医師・・・月(1・3・5週)
			原 友太 高田 皓平	福井 洋介 住井 遼平 佐藤 大直	齋藤 誠司 小西 史哲 木村 美名子	住井 遼平 高木 桃李 宇田 陽紀	岡本 晃一 中城 健	水・・・齋藤医師(総合内科・感染症科)

ご予約がなくても受診は可能です(完全予約制を除く)。ただし、ご予約をいただいた方が優先となりますので、長い時間お待ちいただくこともございます。あらかじめご了承ください。

診療科名			月	火	水	木	金	備考
消化管内科	消化器内科外来		藤田 勲生 村上 敬子	豊川 達也 野間 康宏	稲生 祥子	村上 敬子 日野 真太郎	豊川 達也	月…村上医師は紹介患者を午前中のみ
肝臓内科	肝臓内科外来				兒玉 英章		兒玉 英章	
血液内科	血液内科外来		近藤 匠					月…第1・3・5週のみ
内分泌内科	内分泌内科外来			寺坂 友博			石井 貴大	
糖尿病内科	糖尿病内科外来	午前 午後	須江 美裕		須江 美裕			予約制(初診は地連予約のみ)
肝・胆・膵 外科	肝・胆・膵外科外来	午前			稲垣 優 北田 浩二	稲垣 優 徳永 尚之		
		午後				内海 方嗣		
消化管外科	消化管外科外来	午前	宮宗 秀明 寺石 文則	大塚 眞哉 濱野 亮輔 岡林 弘樹	大塚 眞哉	常光 洋輔 宮宗 秀明	常光 洋輔 岡林 弘樹 高橋 立成	
		午後	宮宗 秀明 寺石 文則	濱野 亮輔 岡林 弘樹 加藤 雄也		宮宗 秀明	岡林 弘樹	
ストーマ外来	ストーマ外来	午後	宮宗 秀明					
乳腺・ 内分泌外科	乳腺・内分泌外科 外来	午前		三好 和也	高橋 寛敏		三好 和也	
		午後		高橋 寛敏	三好 和也	高橋 寛敏	榎原 友希	月曜日(午後)は予約患者のみ
遺伝診療科	遺伝診療科外来	午前				山本 英喜		木…第1・3週午前のみ ※診察は脳神経外科外来で行います
内視鏡 センター	消化管		野間 康宏 豊川 達也 稲生 祥子 住井 遼平 平岡 凌河 岡本 晃一 佐藤 大直 宇田 陽紀 日野 真太郎 木村 美名子 中城 健 小西 史哲	藤田 勲生 稲生 祥子 原 友太 表 静馬 平岡 凌河 岡本 晃一 高木 桃李 宇田 陽紀 日野 真太郎 木村 美名子 中城 健	野間 康宏 豊川 達也 村上 敬子 原 友太 住井 遼平 平岡 凌河 岡本 晃一 佐藤 大直 宇田 陽紀 日野 真太郎 中城 健	藤田 勲生 豊川 達也 野間 康宏 原 友太 住井 遼平 平岡 凌河 岡本 晃一 佐藤 大直 木村 美名子 中城 健 小西 史哲	稲生 祥子 藤田 勲生 野間 康宏 前原 弘江 原 友太 住井 遼平 佐藤 大直 宇田 陽紀 日野 真太郎 木村 美名子 小西 史哲	
		気管支鏡		岡田 俊明 市原 英基 妹尾 賢 杉崎 悠夏 大森 洋樹 松浦 宏昌 高田 皓平			岡田 俊明 妹尾 賢 松浦 宏昌 高田 皓平	
呼吸器内科	呼吸器内科外来		岡田 俊明 松浦 宏昌	市原 英基	妹尾 賢 大森 洋樹 馬場 貴大	岡田 俊明 妹尾 賢 松浦 宏昌	大森 洋樹 馬場 貴大	月・水・木…肺がん検診 月・木…結核検診 火…市原医師は午前のみ 金…大森医師は午後のみ 水…馬場医師は第1・3・5 木…松浦医師は午後のみ
呼吸器外科	呼吸器外科外来	午前 午後	高橋 健司 二萬 英斗	高橋 健司		二萬 英斗		
循環器内科	循環器内科外来						廣田 稔	水…心臓カテーテル検査(午後のみ)
血管外科	血管外科外来						丁 サムエル	第2・4金曜日 13:30-15:30
心臓リハビリ テーションセンター	心臓 リハビリテーション		廣田 稔 上田 亜樹			廣田 稔 上田 亜樹		
脊椎・ 人工関節 センター	整形外科		宮澤 慎一 宮本 正 日野 知仁 松下 具敬	甲斐 信生 渡邊 典行 古島 裕次郎 大石 聖明	宮本 正 日野 知仁	宮澤 慎一 宮本 正 日野 知仁 松下 具敬	甲斐 信生 宮澤 慎一 渡邊 典行 古島 裕次郎	初診は紹介状持参の方のみ 水…受付は10:30まで 木…金…宮澤医師(午前のみ) 月・水…宮本医師(月・午後のみ)/(水・午前のみ) 月・水・木…日野医師(午前のみ) 木…松下医師(午前のみ) 火…金…古島医師(火・午後のみ)/(金・午前のみ) 火…大石医師(火・午前のみ)
				リウマチ・関節外来				
頭頸部腫瘍 センター	耳鼻咽喉・ 頭頸部外科	午前	中谷 宏章 竹内 薫			中谷 宏章 福島 慶	福島 慶 竹内 薫 佐藤 直弥	午後は予約のみ 補聴器外来…第2・4金曜日午後のみ
		午後	福島 慶			中谷 宏章 福島 慶	補聴器外来	
	形成外科	午前	三河内 明 井上 温子		三河内 明 河田 真由美		三河内 明 河田 真由美	
皮膚科	皮膚科外来	午前	藤井 江利子	藤井 江利子	藤井 江利子	下江 敬生	藤井 江利子	月～金…午前のみ
精神科	精神科外来		水野 創一	水野 創一	水野 創一	水野 創一	水野 創一	月…初診のみ(地連予約必) 火水金…再診のみ
エイズセンター	総合内科・感染症科		齊藤 誠司		齊藤 誠司		齊藤 誠司	月…齊藤医師は午後のみ(予約のみ)
画像 センター	放射線診断科		岸 亮太郎 西垣 貴美子	岸 亮太郎 西垣 貴美子	岸 亮太郎	岸 亮太郎 西垣 貴美子	岸 亮太郎	左記、地連予約枠
	放射線治療科		中川 富夫 兼安 祐子	中川 富夫 兼安 祐子	中川 富夫 兼安 祐子	中川 富夫 兼安 祐子	中川 富夫 兼安 祐子	火・金…ラルス治療(午後)
	IVR		平岡 凌河 石川 順一 兒玉 英章		廣田 稔 福井 洋介	坂田 雅浩 兒玉 英章		月…午後のみ 木…午後のみ
口腔相談 支援センター	口腔相談		黒川 真衣	藤原 千尋 黒川 真衣	藤原 千尋 黒川 真衣	藤原 千尋 黒川 真衣	藤原 千尋 黒川 真衣	平日 8:30-16:30(予約不要)
看護外来	リンパ浮腫外来		岡野 敬子 大原 聡子			岡野 敬子 大原 聡子		予約のみ 月…初回の方のみ 木…2回目以降の方のみ
	がん看護外来				がん専門看護師			予約のみ がん専門看護師又はがん分野の認定看護師対応
その他	健康診断		健康診断	健康診断	健康診断	健康診断	健康診断	平日 8:30-10:00 受付 ※事前に予約連絡をお願いします (内科・外科…予約不可 産婦人科…11:00まで) 市検診の肺がん検診は月・水・木
	禁煙外来				長谷川 利路 (代診の場合あり)			※診察は耳鼻咽喉・頭頸部外科で行います。 水…10:00-12:00 初診は月1回指定日になります

【休診日】土曜・日曜・祝日、年末年始(12/29-1/3) ※眼科は休診中です。



# 五月



## CONTENTS

病院方針 飛躍する福山医療センター 1~7

病院機能評価<3rdG:Ver.3.0>の認定を受けました 8

2026年度 特定行為研修入講式を迎えて 9

### OPEN CONFERENCE

大腸がん個別化医療 激動の1年を振り返る 10

Publish 11・12

新採用者紹介 16~20

1枚の絵 No.161 ひまわりサロンミニレクチャー 音楽カフェ  
お知らせ 研修会・オープンカンファレンス 28

編集後記 28

外来診療予定表 (2026年5月) 29・30

## 連載

"中国ビジネス情報" 転載 外科医のひとりごと Vol.78 ..... 13

No.132 在宅医療の現場から ..... 14

No.10 面白い生物の世界とクラシック音楽 ..... 15

No.143 事務部だより「水族館」 ..... 20

### 連載151 世界の病院から

病院見聞記・台湾編 No.79 ..... 21・22

マサカツくんのツーリング紀行 No.85 ..... 23・24

Design No.112 ..... 25

SAKE Freak No.59 ..... 25

広報委員会だより Vol.10 ..... 26

萬葉の花と歌(89) ..... 27

### ■ 撮影者からのコメント

五月はツーリングにもってこいの季節、気温が上がっても湿度がないから爽やかに気持ち良く走る事ができます。でも、ゴールデンウィークを過ぎると、日中は真夏の暑さになったりすることも。身体が未だ暑さに慣れてないからヘトヘトになります。なので、最近では二月の終わりから寒いぐらいで走る方が好きかな。大きなバイクで遠出もしますが、カブにタンデムも楽しいですよ。

表紙の花は「しまなみ海道」を走る時、必ず立ち寄るコーヒー屋さんの直ぐ側で出会いました。何年も同じ季節に立ち寄るのですが、初めての出会いです。GoogleAIで調べると「セイヨウリンゴ」だと教えてくれました。

私の知るリンゴの花弁より大きく、ピンクの縁取りがとってもオシャレな可愛い姿。でも一番気になるのは、実が付くの？ 食べられるの？ が真っ先な食いしん坊のサガ!!。色気も素っ気もない。お恥ずかしい。

次は新しいメンバーと近場ツーリング、その次は九州への温泉ツーリング、旦那さんが色々計画してくれるので、安全安心に楽しむことができます。

2A病棟看護師 中島 和枝

読者の皆さまのご意見・ご要望をもとに、より充実した内容の広報誌を目指しています。  
ご意見・ご要望は FAX:084-931-3969 又は E-mail:507-HP@mail.hosp.go.jp までお寄せください。



独立行政法人 国立病院機構  
**福山医療センター**  
National Hospital Organization FUKUYAMA MEDICAL CENTER

〒720-8520 広島県福山市沖野上町4丁目14-17  
TEL(084)922-0001(代) FAX(084)931-3969  
<https://fukuyama.hosp.go.jp/>

